

獣医保健看護学科設置の趣旨等を記載した書類

目次

I. 設置の趣旨及び必要性	p. 3
1. 愛玩動物看護師法の制定と大学における愛玩動物看護師養成について	p. 3
2. 麻布大学が担う必要性について	p. 3
3. 獣医保健看護学科が養成する人材像と教育研究上の目的	p. 5
4. 獣医保健看護学科として研究対象とする中心的な学問分野	p. 9
II. 学科の特色	p. 9
1. リテラシーとコンピテンシーを中心とした獣医保健看護学の創設	p. 9
2. 最先端の獣医療と臨床獣医学教育研究を実施している動物病院における実践教育	p. 10
3. 動物福祉と倫理観を持つ高い視座からのヒトと動物の共生科学の創生	p. 10
III. 学科の名称及び学位の名称	p. 11
IV. 教育課程の編成の考え方及び特色	p. 11
V. 教育方法、履修指導方法及び卒業要件	p. 12
1. 教育方法	p. 12
2. 履修指導及び履修支援の体制	p. 12
3. 進級要件	p. 13
4. 卒業要件	p. 13
VI. 多様なメディアを高度に利用して、授業を教室以外の場所で履修させる場合の具体的計画	p. 13
1. 基本方針	p. 13
2. 授業形態選択プロセス及び申請について	p. 14
3. オンデマンド方式による授業実施の際のルール	p. 14
VII. 編入学定員を設定する場合の具体的計画	p. 14
1. 既修得単位の認定方法	p. 14
2. 履修指導方法	p. 15
3. 教育上の配慮等	p. 15
VIII. 実習の具体的計画	p. 15
1. 実習の目的	p. 15
2. 実習先の確保の状況	p. 15
3. 実習先との契約内容	p. 16
4. 実習水準の確保の方策	p. 16
5. 実習先との連携体制	p. 16
6. 実習前の準備状況	p. 17
7. 事前・事後における指導計画	p. 17

8. 教員及び助手の配置並びに巡回指導計画	p. 17
9. 実習施設における指導者の配置計画	p. 18
10. 成績評価体制及び単位認定方法	p. 18
IX. 企業実習（インターンシップを含む）や海外語学研修等の学外実習を実施する場合の具体的計画	p. 18
1. 実習先の確保の状況	p. 18
2. 実習先との連携体制	p. 18
3. 成績評価体制及び単位認定方法	p. 19
X. 取得可能な資格	p. 19
XI. 入学者選抜の概要	p. 19
1. 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）	p. 19
2. 入学者選抜方法	p. 20
XII. 教員組織の編成の考え方及び特色	p. 22
1. 教員組織編成の基本的な考え方	p. 22
2. 教員組織編成の考え方に基づく教員配置	p. 22
3. 教員組織の年齢構成	p. 24
XIII. 研究の実施についての考え方、体制、取組	p. 24
1. 研究環境	p. 24
2. 研究倫理	p. 25
XIV. 施設、設備等の整備計画	p. 25
1. 校地、運動場の整備計画	p. 25
2. 図書等の資料及び図書館の整備計画	p. 28
XV. 管理運営及び事務組織	p. 27
1. 教授会	p. 30
2. 学生の厚生補導	p. 30
XVI. 自己点検・評価	p. 33
XVII. 情報の公表	p. 34
XVIII. 教育内容等の改善を図るための組織的な研修等	p. 36
1. FD 活動の推進に係る全学体制	p. 36
2. SD 活動の推進に係る全学体制	p. 37
XIX. 社会的・職業自立に関する指導等及び体制	p. 37
1. 教育課程内の取組について	p. 37
2. 教育課程外の取組について	p. 38

I. 設置の趣旨及び必要性

1. 愛玩動物看護師法の制定と大学における愛玩動物看護師養成について

愛玩動物看護師法が、第 198 回通常国会（衆議院令和元年 6 月 13 日、参議院同年 6 月 21 日）に、議員立法として全会一致で可決成立し、同年 6 月 28 日に公布された。これにより動物看護師の資格は、民間による統一認定資格から「愛玩動物看護師」の名称のもと、国家資格化され、第 1 回愛玩動物看護師国家試験は、令和 5 年 2 月 19 日に行われた。同法が制定された令和元年時点における民間による認定動物看護師試験の受験校数は、専門学校の 65 校に対して大学はわずか 8 校のみであり、国家資格としての愛玩動物看護師の知識・技術の高位平準化及び教育レベルの向上を図るためには、愛玩動物看護師養成を担う 4 年制の大学拡充の必要性が認められる。

また、同法の目的である「愛玩動物に関する獣医療の普及及び向上並びに愛玩動物の適正な飼養に寄与」を実現するため、前者の愛玩動物に関する獣医療の普及については、一次診療動物病院（いわゆる町の「かかりつけ動物病院」）に勤務する愛玩動物看護師には、全ての診療分野の補助に関する幅広い知識と技術が求められる。一方で、二次診療動物病院（大学附属動物病院や民間の動物高度医療センターなど）に勤務する者においては、各診療分野に特化した専門的な知識と技術が求められる。

さらに、後者の愛玩動物の適正な飼養への寄与についても、同法の成立とともに「動物の愛護及び管理に関する法律」の動物取扱責任者として、獣医師及び実務経験のある常勤職員に加えて、愛玩動物看護師が追加された。

したがって、動物病院における臨床愛玩動物看護師のみならず、地域社会の中で、公務員愛玩動物看護師として、あるいはペット関連産業分野における動物取扱責任者として、平常時はもとより災害時においても、専門的知識や情報の活用ができるリテラシーを持ち、獣医臨床のチームワーク診療の実施とペット飼育者や地域住民と適切にコミュニケーションを図ることができるコンピテンシーを有した人材の養成が求められている。

また、倫理や福祉を基にしたヒトと動物の共生という高い視座から、今後の日本におけるヒトと動物の共生の未来に貢献する人材育成も急務である。これらの目的達成のためにも、論理的思考能力やコミュニケーション能力、対人スキルといった基礎的なリテラシー教育を受けることができる 4 年制の大学拡充の必要性が認められる。

2. 麻布大学が担う必要性について

獣医保健看護学科（以下「本学科」という。）の設置を計画している学校法人麻布獣医学園麻布大学（以下「本学」という。）は、その前身である東京獣医講習所が 1890 年（明治 23 年）に開設された。本学の建学の精神は『学理の討究と誠実なる実践』であり、開設当初より、ヒトと動物との共存及びヒトと自然環境との調和の途を探究することを目的として、獣医学、動物応用科学及び環境科学に関する専門の知識を教授研究し、その応用力の展開をはかるとともに、進んで学術の進歩と国民生活の向上に寄与し、平和社会の建設に貢献することができる人材の養成に取り組んできた。現在は獣医学部と生命・環境科学

部の2学部を有し、令和2年には130周年を迎えた歴史ある私立獣医系大学である。

本学科の設置を計画している本学獣医学部は、獣医学科と動物応用科学科から構成され、獣医学科では動物医療のスペシャリストの育成（獣医師の養成）を、動物応用科学科では動物に関しての専門知識と実践力に加え、幅広い視点で社会に貢献できる能力を兼ね備えた実践的ジェネラリストの育成を目指し教育研究を行っている。獣医学科では、全国共通のモデル・コア・カリキュラムと参加型臨床実習に対応した獣医学教育はもとより、小動物と大動物のそれぞれの臨床教育に適した施設・設備を整備して充実した教育を実践している。さらに、国内の獣医学系大学では最多を誇る36の研究室を擁し、動物に関して多様な教育研究活動を行っている。また、国内の獣医学系大学の動物病院としてはトップクラスの規模を誇る麻布大学附属動物病院が設置されており、最新の医療機器や分析機器を完備した同病院では、年間約1万4千症例の診療を行うと同時に、学生たちが臨床の現場に立ち会い、将来に向けた獣医療を学べる教育施設としても機能している。動物応用科学科では、動物のさまざまな生命現象を、遺伝子などの分子、細胞から個体、群集までの多様なレベルで理解する動物生命科学分野及びヒトと動物（野生動物を含む）のより良い共生を追求する動物人間関係学分野の総合的な教育を行うとともに質の高い研究を実施している。

本学の強力な教育研究力が評価され、文部科学省の令和2年度大学教育再生戦略推進費「知識集約型社会を支える人材育成事業」の『メニューⅡ 出る杭を引き出す教育プログラム』に全国の大学で唯一採択された。同プログラムでは、一定の条件の下、1年次後期から第一線の研究に参加し、様々な社会的問題に立ち向かい、科学的アプローチにより動物と社会への貢献を目指して勉学に励んでいる。

加えて、本学では文部科学省の令和3年度大学改革推進等補助金「デジタル活用高度専門人材育成事業」に採択され、本学の教育研究分野である臨床獣医学分野、動物生産性分野、野生動物関連分野、伴侶動物分野、動物福祉分野、ヒト健康・栄養情報利活用分野、環境モニタリング分野において、産業界等のDX動向を把握し、高度化した実験実習カリキュラムを実施している。この特色ある実習をとおして学生のデジタルデータ処理能力の向上とともに、高度な専門知識と分析力を用いながら課題解決能力、主体的に学び続ける姿勢を身に付け、デジタル人材を育成する体制が整っている。本事業は本学の教育研究実績を格段に高め、高度化する獣医療、動物福祉の充実化が求められる人材の輩出において高い優位性があるといえる。

このように本学では、国内の獣医学系大学では最多を誇る36の研究室を擁し、動物に関して多様な教育研究活動を行い、獣医療あるいは動物科学に関する高い専門性のみならず、多様な知識集約型の実践的人材の育成に取り組んでおり、これまでに日本全国に臨床獣医師及び動物生命科学実践的ジェネラリストあるいは研究者を多数輩出してきている。獣医学及び動物科学分野における長年の教育実績と国内有数の教育研究組織を有し、さらに最先端の獣医療と臨床獣医学教育研究を実現している総合動物病院を擁する本学が、動物生命と獣医領域の科学的なリテラシーを備え、さらに、獣医師、飼い主、関係者と一体となった獣医療を支えるコンピテンシーを持ち合わせた愛玩動物看護師を養成することは、多

様化するヒトと動物の共生社会という新たな社会ニーズに応えるものである。

3. 獣医保健看護学科が養成する人材像と教育研究上の目的

(1) 獣医保健看護学科の人材養成の理念と目的

獣医療の発展とそれを介したヒト社会の健康と福祉、生活の質（QOL）の充実を図るためには、「ヒトと動物と環境の共生を支える」理念をもった人材を養成することが、未来社会に向け、高等教育機関としての獣医系大学に求められる社会的役割であり責任であるといえる。

そこで本学科では、獣医学及び動物科学における専門的知識や情報の活用ができるリテラシーを持ち、ペット飼育者や地域住民と適切にコミュニケーションを図ることができるコンピテンシーを有した人材の養成を目的とする。すなわち、動物愛護及び適正飼養など、ヒトと動物の健康と福祉、QOL の向上にかかわる分野の科学的根拠に基づいた貢献ができる人、さらにリテラシーとコンピテンシーを基に、ヒトと動物の生命と福祉及び未来の共生社会に対して社会的使命を遂行できる能力を持つ人材の養成を目指すこととする。

具体的には、獣医保健看護学に関する専門的な知識と技術を備え、臨床獣医療環境（一次診療、二次診療）において獣医師と綿密に相互連携して治療や手当てに当たることができる、いわゆるチーム獣医療を実践し、ヒトと動物の健康と福祉、QOL の向上に貢献することができる人材を養成する。さらには、獣医師と連携しつつ、多様化する社会ニーズに応えうる力、特に飼育者に寄り添った医療支援と適正飼養に則した指導や啓発、専門的知識に基づいて、入院や手術、日常的な健康管理のサポート及び問題行動の予防と診療におけるコンサルテーションとフォローアップの技能を有する人材を養成する。

これらの教育は一般の動物病院に留まらない。公共獣医事分野における動物愛護管理行政では、環境省や地方自治体における動物愛護管理担当職員として、専門的知識を持ち、地域住民や飼育者とコミュニケーションを図ることができる能力を有し、平常時に加え、災害発生時においても飼育者に対して適正飼養に関する啓発・指導を行うことができる公務員愛玩動物看護師の養成にも貢献する。また、厚生労働省の食品衛生監視員、農林水産省の家畜防疫官等の公務員や地方自治体における畜産技術職等としても専門的知識と技術を活かし、保健所、家畜保健衛生所、食肉衛生検査所等において公衆衛生や人獣共通感染症等のリスクマネジメント及び食の安心・安全を支えることができる人材の養成も射程に入っている。

獣医保健看護学の専門的知識と技術に加え、論理的思考能力やコミュニケーション能力、対人スキルといったリテラシーとコンピテンシーを兼ね備えることで、複雑化・多様化するヒトと動物の共生領域における課題発見や課題解決も可能となる。このような能力は動物あるいは生命科学分野の産業、例えばペット関連事業、動物飼育管理事業、医療情報分野（MR）、研究・開発分野（医療・食品・飼料）、バイオテクノロジー関連

分野、研究補助・実験動物技術分野、畜産技術分野でも活躍が期待される実践力を備えた人材の養成とも連結する。

(2) 獣医保健看護学科の卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）

本学科では、獣医保健看護学におけるリテラシーとコンピテンシーを兼ね備えた、次のような人材の養成を目標とする。

- 1 愛玩動物看護師としての基礎及び専門分野の学問内容についての知識を有し、獣医療の補助、動物の看護、動物愛護及び適正飼養に対応できる専門家としての技術と実践力を持つ。
- 2 動物看護領域における動向や最先端科学から得られるエビデンスに基づく情報を読み解き、課題発見・課題解決にあたることができる科学リテラシーを備える。
- 3 飼い主や獣医師など周囲との密なコミュニケーションを介した獣医療の充実化に寄与するコンピテンシーを備える。
- 4 ヒトと動物の共生の在り方や倫理観、道德観を養い、その高い視座から獣医療の進歩や生命科学に関する社会のニーズに持続的に対応しうる柔軟さと学習意欲を持ち、ヒトと動物の共生社会の発展に貢献する能力を持つ。

(3) 獣医保健看護学科の教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）

獣医学及び動物科学の基礎並びに専門教育を効率よく学修でき、またその中でリテラシーとコンピテンシーを兼ね備えられるように、ICT を活用し、基礎動物学、基礎動物看護学、臨床動物看護学及び愛護・適正飼養学の4つのカテゴリーに分けて教育を展開する。

- 1 1年次では、化学、生物、英語などの科目配当で基礎学力を身に付けながら、キャリアデザイン基礎を通じ、リテラシー能力の基盤を構築する。また、専門教育科目の基礎となる動物の形態や機能、行動様式についての学びを開始するほか、愛玩動物看護師として重要な生命倫理・動物福祉や職業倫理の概念を学び、動物看護学への修学意欲を高める。
- 2 2年次では、1年次の学修内容をもとに、動物の栄養や適正飼養、感染症について理解を深め、内科・外科診療の補助に必要な知識修得など臨床動物看護学に関する学びを開始する。また、教養科目の社会学等に加え、データサイエンス教育により、ヒトと動物の生命と福祉及び共生にかかわる情報の適切な理解と伝達能力及びリテラシーを養う。
- 3 3年次では、2年次までの学修内容を発展させ、内科・外科診療の補助のための技術を習得し、動物の個々の状態に合わせた看護の計画や提供について学ぶことで、愛玩動物看護師としての専門性を高める。また、チーム医療を実践する上で重要な動物医療コミュニケーションを学びコンピテンシーを養う。
- 4 4年次では、愛玩動物看護師として社会に巣立つために、動物病院における実践的な

動物看護実習に参加するとともに、国家試験対策科目を通して国家資格取得を目指す。また、課題研究又は卒業論文等に取り組み、ヒトと動物の共生という高い視座を持ったリテラシーとコンピテンシーを向上させる。

卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）と後述する養成する人材像及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）との関連を示すカリキュラムマップは、下図のとおりである。



基礎教育系科目に人文・社会学、自然科学系科目、データサイエンス科目等から構成されるベーシック（基盤教育）において、大学卒業者としての教養と基礎的及び情報リテラシーを修得する。次に、専門科目の基礎動物学、基礎動物看護学、愛護・適正飼養学、臨床動物看護学から構成されるアドバンス（発展教育）では、愛玩動物看護師としての基礎及び専門的知識を身につける。さらに専門共通系科目の実験・実習科目、探求・研究科目からなるプラクティス（展開教育）を通じて、愛玩動物看護師として、獣医師療の補助、動物の看護、動物愛護及び適正飼養に対応できる専門家としての実践力と、獣医師療の充実化に寄与するコンピテンシーを身につける。並行して、ヒトと動物の共生の在り方や倫理観、道徳観を養い、その高い学問の視座から現在のヒトと動物の関係における課題発見能力と課題解決能力を身につける。

(4) 獣医保健看護学科の入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）

本学科の教育は、愛玩動物看護師として高い倫理観を有し、獣医保健看護学におけるリテラシーとコンピテンシーを兼ね備えることでヒトと動物の共生社会に貢献できる人材を養成することを目的にしているため、次のような人物を求める。

- 1 人や動物、自然が好きな人
- 2 動物看護学の基礎となる獣医学と動物科学に強い関心を持ち、愛玩動物看護師となることについて明確な目的意識を持つ人
- 3 愛玩動物看護師になるための情熱及び他者への思いやりと奉仕の心、高い倫理観を持つ人

(5) 麻布大学学修の成果に係る評価等の基準（アセスメント・ポリシー）

麻布大学では、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー（DP））、教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラムポリシー（CP））及び入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー（AP））の3つのポリシーに基づいて、大学全体レベル（機関レベル）、学部学科ごと（教育課程レベル）、科目ごと（授業科目レベル）の3段階で以下のとおり学修成果等の検証を行う。

【大学全体（機関レベル）】

本学の学生の希望する進路（就職率・進学）等から、学生の学修成果等の達成状況を検証する。検証結果は、本学の教育に関する現状把握、教育課程見直し・改善、全学的な教学マネジメント及び教育環境の改善に活用する。

【学部・学科ごと（教育課程レベル）】

学部・学科の所定の教育課程における資格・免許の取得状況、卒業要件達成状況（単位修得状況・GPA）、各種学生アンケートの状況、プレースメントテスト等の実施結果から教育課程全体を通じた学修成果の達成状況を検証する。検証結果は、学部・学科の所定の教育課程に関する現状把握、改善・向上・開発及び教育環境の改善に活用する。

【科目ごと（科目レベル）】

シラバスで提示された授業科目の到達目標に対する評価及び授業アンケート等の結果から、科目ごとの学修成果の達成状況を検証する。検証結果は、授業科目の成績評価の分布及び授業評価の結果の確認による現状把握、授業科目の改善・向上・開発に活用する。

	入学前・初年次：AP	在学中：CP	卒業・修了時：DP
大学全体（機関レベル）	①選抜区分別入学試験結果 ②入学前教育の実施結果（参加者数） ③プレースメントテストの実施結果	①GPA ②学生満足度調査結果 ③授業評価アンケート ④進級結果（進級率） ⑤休学率 ⑥退学率 ⑦授業時間以外の学習時間 ⑧卒業論文履修登録率、単位修得率	①卒業生へのアンケート調査 ②標準修業年限卒業生数・修了者数及び卒業率・修了率 ③就職率 ④大学院進学率 ⑤学位授与数 ⑥獣医師国家試験・愛玩動物看護師国家試験・臨床検査技師国家試験の合格率 ⑦就職先へのアンケート

	入学前・初年次：AP	在学中：CP	卒業・修了時：DP
学部・学科ごと（教育課程レベル）	①選抜区分別入学試験結果 ②入学前教育の実施結果（参加者数） ③プレースメントテストの実施結果	①GPA ②学生満足度調査結果 ③授業評価アンケート ④進級結果（進級率） ⑤休学率 ⑥退学率 ⑦授業時間以外の学習時間 ⑧卒業論文履修登録率、単位修得率	①卒業生へのアンケート調査 ②標準修業年限卒業生数・修了者数及び卒業率・修了率 ③就職率 ④大学院進学率 ⑤学位授与数 ⑥獣医師国家試験・愛玩動物看護師国家試験・臨床検査技師国家試験の合格率 ⑦就職先へのアンケート
科目ごと（科目レベル）	①選抜区分別入学試験結果 ②入学前教育の実施結果（参加者数）	①成績評価（定期試験、レポート等） ②授業評価アンケート ③科目成績分布 ④科目別の到達目標に対する評価	

4. 獣医保健看護学科として研究対象とする中心的な学問分野

養成する人材像に対応する学問分野として、本学科には次の 3 つの中心的専門分野を置く。

〔愛護・適正飼養学系〕

愛玩動物学、動物行動学、人と動物の関係学、生命倫理・動物福祉、適正飼養学、動物生活環境学、ペット関連産業社会学等

〔獣医基礎看護学系〕

動物形態機能学、動物病理学、動物薬理学、動物感染症学、公衆衛生学等

〔獣医臨床看護学系〕

動物臨床内科看護学、動物臨床外科看護学、動物臨床検査学、動物医療コミュニケーション等

なお、本学の獣医学科教育体系に準じて、これら3つの専門分野を教育体制である教育の系としても位置づける。

II. 学科の特色

本学科が養成する人材像と教育研究上の目的を踏まえ、本学科は次の3つの教育の機能を特色とする。

1. リテラシーとコンピテンシーを中心とした獣医保健看護学の創設

本学科の科目群において、獣医診療に必要不可欠な基礎知識や技術に関する教育を実施することは言うまでもない。本学では、従来の動物看護学とは一線を画し、リテラシ

ーとコンピテンシーの教育に注力する。獣医診療録（カルテ）や疫学データ等のビッグデータを基に、飼育者への説明やその向上に貢献するため、データサイエンスに基づく情報リテラシーに関する科目をそれぞれ配置する。また、臨床場面におけるチームワーク診療に必要なコンピテンシーと多様な飼育者を相手にすることを想定した高いコミュニケーション能力を養うための科目を段階的に配当し、体系的に学ぶ。これにより、愛玩動物看護師として、獣医診療の補助、動物の看護、動物愛護及び適正飼養に対応できる専門家としての実践力に加え、動物看護における新たなチーム医療を確立すること、また、その礎となるリテラシーとコンピテンシーを兼ね備える科目を設置しているという特色を持つ。

2. 最先端の獣医療と臨床獣医学教育研究を実施している動物病院における実践教育

獣医師と綿密に連携して治療や手当てに当たるチーム獣医診療を实践できる臨床動物看護師を養成するためには、動物病院における実践教育が必要不可欠である。ただし、一次診療動物病院に勤務する愛玩動物看護師には、全ての診療分野の補助に関する幅広い知識と技術が求められる一方で、二次診療動物病院に勤務する者においては、各診療分野に特化した高度な専門的知識と技術が求められるため、いずれにも対応できる応用性の高い看護師の養成には、多様な獣医療環境における実習が必要となる。本学科では、一次診療環境における実習については、動物病院と動物医療に関わる立場から「動物病院及び動物医療の充実に関する事業」及び「動物病院による地域社会への貢献を推進する事業」を通じて、動物医療従事者の知識・技術の高位平準化を図っている公益社団法人日本動物病院協会（以下「JAHA」という。）と連携協力に関する包括協定を締結し、同協会に加盟する動物病院での実習を通じて、小動物医療看護の教育研究を推進する。一方、二次診療環境における実習については、国内の獣医学系大学の動物病院としてはトップクラスの規模を誇り、最新の医療機器や分析機器を完備した本学附属動物病院において、学生たちを臨床の現場に立ち合わせることで、高度獣医療看護の教育研究を受けられるようにする。

3. 動物福祉と倫理観を持つ高い視座からのヒトと動物の共生科学の創生

本学はヒトと動物の共存及びヒトと自然環境の調和の途を探究することを目的として、獣医学、動物応用科学及び環境科学に関する専門的知識を教授研究し、その応用力の展開をはかるとともに、進んで学術の進歩と国民生活の向上に寄与し、平和社会の建設に貢献することができる人材の養成に取り組んできた。本学科において、全学共通科目として「地球共生論」などの共生科学を主体とした教育を実施するとともに、日本で最も早く導入・確立してきたヒトと動物の共生科学に基づいた素養を育てる教育を行う。これらの教育から導き出せる動物福祉・倫理観から、未来に向けた日本におけるヒトと動物の共生における課題発見能力とその課題解決能力を強化することを目指し教育を行う。

Ⅲ. 学科の名称及び学位の名称

本学科の学位の分野は「農学関係」であり、獣医学科に併設し、獣医療に関わる科学的素養とコミュニケーション能力を兼ね備えた愛玩動物看護師を養成することから、学科の名称は、「獣医保健看護学科（英語名称：Department of Veterinary Nursing and Health Science）」とする。学位の名称は、「学士（獣医保健看護学）（英語名称：Bachelor of Veterinary Nursing and Health Science）」とする。

Ⅳ. 教育課程の編成の考え方及び特色

本学科の設置の趣旨及び特色を実現するために、以下の教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に基づき、教育課程を編成・実施する。

教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）と養成する人材像及び卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）との関連を示すカリキュラムツリーは、資料1のとおりである。

本学科では獣医学及び動物科学の基礎並びに専門教育を効率よく学修でき、またその中でリテラシーとコンピテンシーを兼ね備えられるように、ICTを活用し、基礎動物学、基礎動物看護学、臨床動物看護学、愛護・適正飼養学の4つのカテゴリーに分けて教育を展開する。

本学科の目的を達成するため、初等年次から最終年次において、以下の教育課程を編成して実施する。

- 1 1年次では、化学、生物、英語などの科目配当で基礎学力を身に付けながら、キャリアデザイン基礎などを通じ、リテラシー能力の基盤を構築する。また、専門教育科目の基礎となる動物の形態や機能、行動様式についての学びを開始するほか、愛玩動物看護師として重要な生命倫理・動物福祉や職業倫理の概念を学び、動物看護学への修学意欲を高める。
- 2 2年次では、1年次の学修内容をもとに、動物の栄養や適正飼養、感染症について理解を深め、内科・外科診療の補助に必要な知識修得など臨床動物看護学に関する学びを開始する。また、教養科目の社会学等に加え、データサイエンス教育により、ヒトと動物の生命と福祉及び共生にかかわる情報の適切な理解と伝達能力及びリテラシーを養う。
- 3 3年次では、2年次までの学修内容を発展させ、内科・外科診療の補助のための技術を習得し、動物の個々の状態に合わせた看護の計画や提供について学ぶことで、愛玩動物看護師としての専門性を高める。また、チーム医療を実践する上で重要な動物医療コミュニケーションを学び、コンピテンシーを養う。
- 4 4年次では、愛玩動物看護師として社会に巣立つために、動物病院における実践的な動物看護実習に参加するとともに、国家試験対策科目を通して国家資格取得を目指す。また、課題研究又は卒業論文等に取り組み、ヒトと動物の共生という高い視座を持ったリテラシーとコンピテンシーを向上させる。

V. 教育方法、履修指導方法及び卒業要件

1. 教育方法

本学科の授業は、講義、演習・ゼミ、実験、実習若しくは実技のいずれかにより又はこれらの併用により行うものとする。授業科目は、基礎教育系科目、基礎動物学科目、基礎動物看護学科目、臨床動物看護学科目、愛護・適正飼養学科目、実験・実習科目、探求・研究科目に区分し、さらに必修科目、選択科目及び自由科目に区分して教育する。

学生は配当された学年又は学期に必修科目を履修しなければならないものとする。選択科目については、基礎教育系科目の中から4年間で合計16単位以上を履修しなければならないものとする。また、在学年次より上級に配当された授業科目は履修することができないこととする。

講義については15時間、演習・ゼミについては30時間、実験・実習については45時間の授業をもってそれぞれ1単位とする。講義と演習を併用する授業については、30時間の授業をもって1単位とする。ただし、教育効果を考慮して、必要あるときは15時間から30時間の範囲の授業をもって1単位とすることができるものとする。卒業論文及び専門ゼミにあっては、当該の学期もしくは通年での研究活動及びその学修の成果を評価して、所定の単位を授与する。

履修科目には年間登録上限（CAP制）を設定する。学生が1年間に履修科目として申請することができる単位数は、再履修科目の単位数も含め、1年次学生にあっては年間50単位未満、2年次以上の学生にあっては、年間47単位未満とする。ただし、前年度のグレード・ポイント・アベレージ（GPA）が学長が別に定める値以上の学生については、履修登録単位数の上限は、年間50単位未満とする。

学生の成績評価方法としてGPA制度を導入し、授業科目ごとの成績評価を5段階（A：90点以上、A：80点以上90点未満、B：70点以上80点未満、C：60点以上70点未満、D：60点未満）で評価し、それぞれに対してグレード・ポイント（4・3・2・1・0）を付与し、全履修科目の単位当たりの平均値を算出する。

授業形態は「対面授業」、「オンデマンド授業（動画・音声型／資料型）」、「オンライン授業（リアルタイム）」のいずれかにより又はこれらを組み合わせたものとする。対面授業の実施を基本としつつも、オンデマンド・オンライン授業によって高い教育効果が望めるものについては、その実施を可能とし、科目ごとに授業形態を柔軟に選択できるようにする。

2. 履修指導及び履修支援の体制

本学科についても、本学獣医学部の既存の2学科（獣医学科及び動物応用科学科）と同様に、クラス担任制度を導入し、各学年に2人の担当教員を割り当てる。クラス担任は、大学の教育方針に基づいて、学生の修学指導、教員と学生及び学生間の人間的交流を図るために、次の役割を果たすこととする。

1 入学時及び各学年当初のオリエンテーション（履修指導等）

- 2 学生の単位修得状況の把握及び成績不良者への指導・助言
- 3 学生の出欠状況の把握及び長期欠席学生の指導・助言
- 4 転学科及び転学科希望者への対応と指導・助言
- 5 学生の休学・退学・復学・留年への対応と指導・助言
- 6 研究室入室への対応と指導・助言
- 7 学生の将来の進路に関する指導・助言
- 8 学生生活上の諸問題に関する指導・助言
- 9 その他学生生活に関する事項

また、クラス担任は、必要に応じて、カウンセラー（公認心理師/臨床心理士）、非常勤専門医（精神科医）及び健康管理センターとの連携によるケアを行うこととする。

3. 進級要件

本学科の進級要件は、次のとおりである。

- 1 年次：1 年次に配当された必修科目のうち、不合格科目が 2 科目以内の者を進級とする。
ただし、基礎教育系科目のうち外国語科目 2 単位以上、選択科目 4 単位以上の修得が必要である。
- 2 年次：2 年次までに配当された必修科目のうち、不合格科目が 2 科目以内の者を進級とする。ただし、基礎教育系科目のうち外国語科目 4 単位以上、選択科目 8 単位以上の修得が必要である。
- 3 年次：3 年次までに配当された全ての必修科目を修得した者を進級とする。

4. 卒業要件

本学科の卒業要件は、次のとおりである。

基礎教育系科目：必修 16 単位

専門共通系科目：必修 96 単位

基礎教育系科目	}	選択 12 単位。ただし、探求・研究科目から 2 単位以上
専門共通系科目		
計：124 単位以上		

本学科が目指す、獣医保健看護学におけるリテラシーとコンピテンシーを兼ね備えた人材育成に対応した履修モデルは、資料 2 のとおりである。

VI. 多様なメディアを高度に利用して、授業を教室以外の場所で履修させる場合の具体的計画

1. 基本方針

対面授業を基本としつつ、オンライン・オンデマンド方式によって高い教育効果が望めるものについては、遠隔授業を選択して実施することを可能とする。なお、遠隔授業

のメリットを踏まえ、学生に対して対面実施の授業を録画して提示する、録画相応の資料（オンデマンド授業の資料等）を提示する、などの対応を合わせて行うようにする。

2. 授業形態選択プロセス及び申請について

オンライン・オンデマンド方式は、遠隔地からの授業となる場合など、学生と教員の双方にメリットがあると考えられる場合であり、かつ授業の半分（7回）以上をオンライン・オンデマンド方式で実施する場合には、担当教員がその授業形態を選択した理由等を明記して申請することとする。学科会議等においてその申請内容の妥当性を審査し、オンライン・オンデマンド方式による授業の実施が適切と判断された場合にのみ、その授業形態での授業の実施を許可する。

また、学生と教員の双方にメリットがあると考えられる場合で、かつ授業の一部（7回未満）をオンライン・オンデマンド方式で実施する場合には、大学設置基準上は対面授業と見なされることから、事前申請は不要とするが、実施については本学教務課及び学科会議に報告することとする。

なお、本学科におけるオンライン・オンデマンド方式での授業合計単位数が60単位を超える可能性がある場合には、本学教務課及び学科会議において学科全体の授業形態の配分を管理する。

3. オンデマンド方式による授業実施の際のルール

- オンデマンド方式による授業は、対面授業による時間割のまま実施する。オンデマンド授業は学習管理システム（LMS）を使って実施し、教材・資料の掲載時期、学生が視聴可能な期間、出欠管理方法については、本学獣医学部として統一的なルールを定める。
- オンデマンド方式による授業の実施については、双方向性（設問解答、添削指導、質疑応答等により十分に指導を併せて行うこと）の担保及び当該授業内容に対する学生の意見交換の機会の確保が必要となることから、大学教員の教育能力を高めるための実践的方法であるファカルティディベロップメント（FD）研修会等を通じて、教員に対して十分に啓蒙を図る。
- 著作権法に基づいた著作物の授業における利用についてFD研修会等を通じて教員に周知することとする。

VII. 編入学定員を設定する場合の具体的計画

1. 既修得単位の認定方法

編入学を志願する者の資格は(1)大学を卒業した者又は卒業見込みの者、(2)本学獣医学部教授会で(1)に相当すると認めた者とする。入学許可は同教授会の意見を聴いて学長が行うこととする。編入年次は2年次とする。

入学する前に在学していた大学の既修得単位は、麻布大学学則第31条の規定に基づき、60単位を限度として、教授会の議を経て認定し、このほか麻布大学獣医学部規則第17条

の規定に基づき、獣医保健看護学科にあつては基礎教育系科目 34 単位に限り、修得単位として認めることができるものとする。

なお、本学獣医学部動物応用科学科を卒業した者が同学部獣医保健看護学科に編入学した場合の既修得単位の読替表は資料 3 のとおりである。

2. 履修指導方法

編入学後の履修モデルは、資料 4 のとおりである。

3. 教育上の配慮等

既修得単位認定は入学後に実施する。入学後の既修得単位認定の状況によっては、3 年間で卒業の要件を満たさない場合もあることから、出願前に本学入試広報課に受験相談するよう勧める。編入学での受入れ予定人数は、若干名とする。

編入学学生に対する履修指導等については、編入学年である 2 年次クラス担任が、在学生と同様に修学指導するとともに（前述 V. 2. 参照）、教員と学生及び学生間の人的交流が図れるよう配慮する。

VIII. 実習の具体的計画

1. 実習の目的

愛玩動物看護師となるためには、実際の臨床獣医療環境（一次診療、二次診療）において獣医師と綿密に相互連携して治療や手当てに当たることができる、いわゆるチーム獣医診療の実践力が求められる。また、獣医師の手の届かないところ、特に飼育者対応、入院や手術、日常的な健康管理のサポート及び問題行動の予防と診療におけるコンサルテーションとフォローアップができるコミュニケーション能力を磨くため、現場における臨床実習が効果的である。本学科の教育課程によって、3 年次までに学生は動物看護学及び動物科学に関する基礎的・専門的知識と技能を身につけている。そこで 4 年次に学外で行う「動物看護総合実習」では、実際の動物診療施設において診療業務に参加し、3 年次までに学んだ学習内容を統合して、動物病院の組織・構成などを知り、獣医師その他のスタッフとの連携、飼育者とのコミュニケーション、愛玩動物看護師としての役割や責任について理解し、実務能力を修得することを目的とする。

2. 実習先の確保の状況

「動物看護総合実習」の受入先については、学外実習施設として 134 病院を確保し、受入人数においては入学定員を上回っており、十分な実習先を確保している。〔資料 5〕本学科の方針として、「動物看護総合実習」をとおして「1. 実習の目的」に示す目的に加えて、多様な病院があることを理解すること、学生自身が実習受入病院の形態、雰囲気、特徴の調査や出身地での実習希望の可能性を含む卒業後の進路への選択肢も加味した上で選定させ、向上心を高め、意欲的に取り組めるよう全国に所在する実習先を確保した。な

お、事前指導において、本学の所在地である神奈川県から遠隔地に所在する実習先での実習を希望する際は、交通費等は学生負担であること、移動の際の交通手段、交通安全に係ることは事前指導にて行うこととする。

3. 実習先との契約内容

本学は、JAHA と連携協力に関する包括協定を締結している。〔資料6〕学外実習施設との契約内容については、委託費、実施計画、指揮命令、企業秘密（個人情報保護）、安全衛生、災害補償・損壊賠償責任等、実習を実施する上で必要な事項を定めた「麻布大学の看護臨床教育に係る実施協定書」を締結することとする。〔資料7〕また、学生及び学外実習施設における双方の事故防止のため、愛玩動物看護師養成所指導ガイドラインを参考に学生に許容される作業の程度をまとめた「学生に許容される動物看護業務の範囲」に従い実習計画を遂行することとする。〔資料8〕

なお、学外実習施設の受入に当たり、実施協定書とともに本実習の到達目標、実習内容、評価方法等を取りまとめた「麻布大学 獣医保健看護学科における「動物看護総合実習」について（実施要領）」、「学生に許容される動物看護業務の範囲」、「実習生評価表」及び「誓約書」を提示し、理解を得た上で実習生受入の承諾を受けたものである。〔資料8、9、10〕

実習生に対しては、SNS を含む実習期間中に知り得た業務上の秘密及び個人情報の取扱いに関する守秘義務について事前指導等を通じて徹底する。

4. 実習水準の確保の方策

JAHA では、「動物病院及び動物医療の充実に関する事業」及び「動物病院による地域社会への貢献を推進する事業」を通じて、動物医療従事者の知識・技術の高位平準化に常日頃より努めていることから、実習先である同協会加盟の動物病院においては、どこでも一定水準の実習が受けられるものと考えられる。

5. 実習先との連携体制

実習先との連携体制について、本学科専任教員及び教務事項を所掌する教務課が連携して実施するものとする。実習前の事前協議にあつては、実習内容や実習における指導の方針に関わる事項はコーディネーターを担当する教員が行い、受入人数の調整、実施協定書の締結、委託費の支払い、誓約書等学生からの提出書類の送付に係る事務を教務課の実習担当者、保険加入に係る事務を学生支援課が担うものとする。

実習期間は、不測の事態に備えて迅速かつ正確に対応を行うため、学外実習施設の実習担当者にあらかじめ緊急連絡先を伝達し、大学は教員と事務局の密な連絡体制を構築し対応に当たるものとする。

6. 実習前の準備状況

学生の感染予防を含む健康管理については、定期健康診断、健康管理センターから発出される、うがい、手洗い、食事、睡眠、運動など基本的な注意喚起を原則とするが、実習の実施を予定している夏期休業期間は熱中症による体調不良を特に注意すべき事項とすること、併せて実習期間中に法定感染症を含む病気や怪我があった場合は、速やかに申し出るとともに適切な対応を行うものとする。

また、実習中に学生が教育研究活動中に被った災害、また、他人への怪我、実習受入病院等の財産を損壊したことにより被る法律上の損害賠償の補償を行うため、学研災付帯賠償責任保険（賠償額 1 億円まで）及び学生賠償責任保険（大学生生活協同組合、3 億円まで）に全員加入必須とする。

実習中に知り得た情報については守秘義務があること、SNS（Twitter、Instagram、Facebook、Line 等）、ホームページ、ブログ、動画共有サイトなどへの投稿及び掲載は禁止することとし、双方を含む内容を各学外実習施設に誓約書として提出し、極めて重要なことであることを学生に意識させるものとする。なお、保証人を大学長とし当該実習の実施については学外実習施設に対して特別な対応が必要になった場合の責任者を明確に示している。

7. 事前・事後における指導計画

実習に係る事前及び事後の指導を 1 単位 30 時間行う。事前の指導は学外の動物病院での実習開始前に行い、事後の指導は学外の動物病院での実習終了後に行う。事前指導では、愛玩動物看護師に対する意識を確認し、実習の目的、実習の概要、実習先の動物病院への依頼、実習生としての心得などについて指導を行う。事後指導については、病院実習記録とともに目標の到達度や実習をとおして向上が図られた点や努力が必要な点など振り返り含め実習報告を実施する。深化が図られた点や努力が必要な点など、多角的な視点から臨床実習の省察を行い、学生相互で成果と今後の課題等について意見交換を行うものとする。

8. 教員及び助手の手配並びに巡回指導計画

動物看護総合実習では、担当学外実習施設ごとに担当する本学科の専任教員を定めるものとし、必要に応じて実習先への巡回、オンラインを含む連絡調整を行う予定である。巡回を実施する際、教員は実習内容、学生の姿勢、態度などを確認するとともに実習施設における指導者等の様子を確認し、学生教育の適切性を判断し、巡回中に問題が生じた場合は直ちに学科教員内での情報共有を図ることとする。なお、当該実習は夏期休業期間中に実施することから、特別な事情を除いてそのほかの講義、実習に支障はなく、教員の負担の程度は適当である。

9. 実習施設における指導者の配置計画

動物看護総合実習における全ての学外実習施設は、JAHA の理念である「人と動物の共生社会の実現に向けて、動物病院を利用する人々のために、設備、管理、知識、技術、倫理において高い基準の達成を目指して動物病院及び動物医療の充実、地域社会への貢献を推進」の趣旨に賛同した正会員であり、実習指導者となる獣医師及び動物看護師（旧制度の認定動物看護師に相当する職種）の適切で高度なスタッフ教育が施されており、高い見識及び十分な実務経験を有し、他大学、専門学校の実習の受入実績もあることから、本学の実習計画に基づく指導に必要な能力を有している。また、学外実習施設の中には診療の質や設備等について、JAHA が定める 5 つの基準を満たし、地域貢献活動に積極的に取り組む動物病院に対して認定動物病院の認定を取得する病院も含まれており、高度な指導者の下での実習の実施が期待できる。

なお、実習の達成目標等の共有については、JAHA をとおして学外実習施設としての受入依頼時に本学科の学外実習方針とともに到達目標、目的等を示したこと、実習開始前に再度実習計画を提示し、実習先の動物病院長による全般的指導・監督の下、動物病院長が任命した実習指導者（獣医師あるいは（愛玩）動物看護師）が実際の指導にあたる。実習の評価は、実習指導者から大学の指定する各項目を 5 段階で評価し、大学に通知し、学外実習受入施設及び JAHA との意見交換会を行い、目標の達成度、次回実習時への課題など適宜見直すこととする。

10. 成績評価体制及び単位認定方法

学生の成績評価は、実習受入先の動物病院における「実習生評価表」、実習生が作成する「動物看護総合実習の記録」及び事前指導、事後指導の評価を総合して、同科目コーディネーターである学科長が成績評価を決定する。

IX. 企業実習（インターンシップを含む）や海外語学研修等の学外実習を実施する場合の具体的計画

1. 実習先の確保の状況

キャリア形成の一環として「キャリデザインフィールドスタディ」において、日常生活世界を相対化し、異文化において自前の認識枠組みの構築をすることを目的とし、国内にあつては 北海道農業共済組合においてフィールドスタディ、国外にあつてはニューヨーク州及びフロリダ州にてフィールドワークを行うものとする。演習は原則として夏期休業期間中の 9 月上旬の 10 日間とする。

なお、北海道農業共済組合は麻布大学と包括連携協定を締結しており、獣医療の臨床教育に係る人材育成の一環として行うものである。

2. 実習先との連携体制

本科目の担当教員が各実習先と連絡調整を行い、実習中の不測の事態に対しては、本学

科教員と本学教務課及び学生支援課が連携し、実習先と緊密に連絡を取りながら、迅速に対応し円滑な運営を図ることとする。

3. 成績評価体制及び単位認定方法

本科目は自由科目 1 単位とし、単位認定当たっては、1 日の活動を 8 時間として 10 日間の参加を単位認定の条件とし、履修者は活動参加に先行する事前学習と事後レポート作成と報告会での報告により単位認定する。成績評価方法は、事前学習への参加（30%）と旅行中の主体的な参加（40%）及び帰国後の報告レポート・報告会への参加（30%）により評価する。国内受け入れ団体によるインターンシップ参加者については、事前準備調整や実施学習への参加（30%）と活動中の主体的な参加（40%）及び終了後の報告レポート・報告会への参加（30%）により評価する。

X. 取得可能な資格

本学科で取得可能な資格を下表に示す。

資格の名称	資格の種類	資格取得の形態
愛玩動物看護師	国家資格	受験資格
食品衛生監視員	国家資格	任用資格
食品衛生管理者	国家資格	任用資格

食品衛生監視員及び食品衛生管理者の資格取得のための教育課程は、本学科の設定する「食品衛生プログラム」に位置づけられ、資格取得のためには同プログラムで指定された授業科目を修得することが必要である。

XI. 入学者選抜の概要

1. 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

1 獣医学部

本学科が所属する獣医学部では、その理念・目的を達成するために、次のような資質を持つ人材を求めている。

(1) 知識・技能

学習意欲が旺盛で、高等学校までの基礎学力、特に生物・化学を含む理科の学力が十分に備わっている人

(2) 思考力・判断力・表現力

自ら課題を課し解決できる能力、考える力、判断する力、表現する力が備わっている人

(3) 主体性・協働性

人や動物に対する思いやりの心を持ち、主体性をもって多様な人々と協働し、能動的に社会に貢献する意志を持っている人

2 獣医保健看護学科

本学科の教育は、愛玩動物看護師として高い倫理観を有し、獣医保健看護学におけるリテラシーとコンピテンシーを兼ね備えることで人と動物の共生社会に貢献できる人材を養成することを目的にしているため、次のような人物を求める。

- (1) 人や動物、自然が好きな人
- (2) 動物看護学の基礎となる獣医学と動物科学に強い関心を持ち、愛玩動物看護師となることについて明確な目的意識を持つ人
- (3) 愛玩動物看護師になるための情熱及び他者への思いやりと奉仕の心、高い倫理観を持つ人

2. 入学者選抜方法

1 入学者選抜の基本方針

本学科では、一般入学試験（第Ⅰ期、第Ⅱ期）のほか、大学入学共通テスト利用入学試験（第Ⅰ期、第Ⅱ期）及び総合型選抜入学試験、推薦入学試験を実施し、複数の入学者選抜方式によって多様な人材を受け入れることを目指す。学力の3要素については、以下のとおり多面的・総合的評価を行う。

(1) 知識・技能

知識・技能は、主として一般入学試験（第Ⅰ期、第Ⅱ期）及び大学入学共通テスト利用入学試験（第Ⅰ期、第Ⅱ期）において評価する。

(2) 思考力・判断力・表現力

教科・科目に対する知識・技能を問うことに加えて、高等学校までに修得した知識・技能を活用（応用）する思考力・判断力・表現力を評価するため、総合型選抜入学試験（第Ⅰ期）、推薦入学試験、外国人特別入学試験、帰国生特別入学試験、社会人特別入学試験及び編入学試験では、論述形式の小論文の出題及び口頭試問あるいは面接を実施する。

(3) 主体性・協働性

主体性・協働性については、調査書等の高等学校における学びの履歴を中心として評価することとし、一般入学試験（第Ⅰ期、第Ⅱ期）、大学入学共通テスト利用入学試験（第Ⅰ期、第Ⅱ期）、総合型選抜入学試験（第Ⅰ期）、推薦入学試験及び社会人特別入学試験（1年次入学）等全ての試験区分において調査書の提出を求める。

2 選抜方法及び選抜基準

(1) 一般入学試験（第Ⅰ期、第Ⅱ期）

一般入学試験では知識・技能を問い、第Ⅰ期（2科目選択型）では、化学基礎・化学、生物基礎・生物、数学Ⅰ・数学A、数学Ⅱ、英語（コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ）の4科目のうちから2科目を選択して受験し、配点を各科目100点として、200点満点で採点し

得点順に選抜する。

第Ⅰ期（総合問題型）では、知識・技能を問うとともに、生物、化学、数学及び英語の基礎的な知識と理解を問う総合問題を出題し、課題文章に対する理解力・図表を読み解く力、基礎的な科学文章に対する理解力についても問う。200点満点で採点し得点順に選抜する。

第Ⅱ期では、化学基礎・化学、生物基礎・生物の2科目のどちらか1科目を選択、数数学Ⅰ・数学A・数学Ⅱ、英語（コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ）を受験し、配点を各科目100点として、200点満点で採点し得点順に選抜する。

(2) 大学入学共通テスト利用入学試験（第Ⅰ期、第Ⅱ期）

大学入学共通テスト利用入学試験（第Ⅰ期、第Ⅱ期）では、教科の理科（①化学基礎、生物基礎、物理基礎から2科目、②化学、生物、物理から1科目；①、②のどちらかを選択）及び数学（数学Ⅰ・数学A、数学Ⅱ・数学Bからどちらか1科目選択）を選択必須、外国語（英語（リーディング・リスニング））を必須とする。配点を理科200点、数学100点、外国語200点として、500点満点で採点し得点順に選抜する。

(3) 総合型選抜入学試験

総合型選抜入学試験（第Ⅰ期）では、試験科目及び出願書類に基づき総合的に選抜する。選抜方法は小論文と口頭試問とする。小論文では、国家資格となった愛玩動物看護師に求められる役割に関して出題する。口頭試問では、コミュニケーション能力、高校時代に主体的に取り組んだ活動等、学部学科の3つのポリシーや大学に対する理解力、学力意欲、将来の抱負、簡単な基礎学力等を問い、総合的に評価して選抜する。

(4) 推薦入学試験

推薦入学試験においては、試験科目及び出願書類に基づき総合的に選抜する。選抜方法は小論文と口頭試問とする。選抜方法は小論文と口頭試問とする。小論文では、家族（飼い主）に寄り添える愛玩動物看護師の理想像に関して出題する。口頭試問では、コミュニケーション能力、高校時代に主体的に取り組んだ活動等、学部学科の3つのポリシーや大学に対する理解力、学習意欲、将来の抱負等を問い、小論文の採点結果と合わせて総合的に選抜する。

(5) 外国人特別入学試験・帰国生特別入学試験・社会人特別入学試験（1年次入学）

外国人特別入学試験、帰国生特別入学試験及び社会人特別入学試験（1年次入学）では、試験科目及び出願書類に基づき総合的に選抜する。選抜方法は小論文と面接とする。小論文では、家族（飼い主）に寄り添える愛玩動物看護師の理想像に関して出題する。面接と小論文の採点結果と合わせて総合的に選抜する。

なお、社会人とは本学が定める高等学校等の卒業等の出願資格（獣医学部は大学（4年制）卒以上を除く。）のほか、出願時に在職している者とし、入学する前に在学していた大学の既修得単位がある場合は、麻布大学学則第31条の規定に基づき、60単位を限度として、教授会の議を経て認定する。

(6) 指定校推薦特別入学試験

指定校推薦特別入学試験（第Ⅰ期）では、面接のほか出願書類に基づき、総合的に選抜する。

(7) 卒業生子女等特別入学試験

卒業生子女等特別入学試験では、口頭試問により選抜する。口頭試問では、コミュニケーション能力、高校時代に主体的に取り組んだ活動等、学部学科の3つのポリシーや大学に対する理解力、学力意欲、将来の抱負、簡単な基礎学力等を問い、総合的に評価して選抜する。

(8) 編入学試験（2年次入学）

編入学試験（2年次入学）では、試験科目及び出願書類に基づき総合的に選抜する。選抜方法は口頭試問とし、コミュニケーション能力、学部学科の3つのポリシーや大学に対する理解力、学習意欲、将来の抱負等を問い、その評価に基づいて選抜する。

3 入試方法の区分ごとの募集人員

本学科の入試方法の区分（試験区分）ごとの募集人員を下表に示す。

試験区分	募集人員（70人）
一般入学試験（第Ⅰ期）	25
一般入学試験（第Ⅱ期）	5
大学入学共通テスト利用入学試験（第Ⅰ期）	5
大学入学共通テスト利用入学試験（第Ⅱ期）	5
総合型選抜入学試験（第Ⅰ期）	15
推薦入学試験	15
外国人特別入学試験	若干名（定員内）
帰国生特別入学試験	若干名（定員内）
社会人特別入学試験（1年次入学）	若干名（定員内）
指定校推薦特別入学試験（第Ⅰ期）	若干名（定員内）
卒業生子女等特別入学試験	若干名（定員内）
編入学試験（2年次入学）	若干名（定員内）

XII. 教員組織の編成の考え方及び特色

1. 教員組織編成の基本的な考え方

本学科の教育研究上の目的、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシー等の各種方針を踏まえ、教育研究の質を保証する教育研究体制を

整備する。本学科では、獣医療看護分野及び愛護・適正飼養分野で活躍する人材を養成するため、高度な専門性を有する教員及び実務経験を有する教員等、多彩な教員構成とする。

2. 教員組織編成の考え方に基づく教員配置

本学科の専任教員数は9人（大学設置基準8人、教授数4人）からなり、大学設置基準を満たす教員数となっている。本学科の教育課程の特色を発揮させるため、獣医保健看護学、獣医学をはじめ基礎医学、歯学、畜産学、社会学分野等で活躍している教育研究者及び臨床動物看護学及び臨床獣医学分野で活躍している実務経験者を配置する。

本学科の専任教員9人の職位の内訳は、教授4人、准教授2人、講師3人である。なお、専任教員9人のうち、教授4人、准教授1人と講師2人は学内異動であり、准教授1人、講師1人については、本学科設置予定の令和6年4月に採用予定である。

実務経験を持つ教員は、臨床動物看護分野1人、獣医臨床分野に3人である。また、専任教員9人のうち、愛玩動物看護師免許保有者は1人、獣医師免許保有者は4人であり、学位保有状況は博士9人（獣医保健看護学1人、獣医学2人、農学1人、医学1人、歯学1人、学術2人、社会学1人）である。

本学科には、本学の獣医学科教育体系に準じて教育体制として教育の系を置く。系は基礎教育及び愛護・適正分野の科目を担当する「愛護・適正飼養学系」及び専門分野である獣医療看護分野の科目を「獣医基礎看護学系」並びに「獣医臨床看護学系」とする。専任教員9人の各系への配置は、「愛護・適正飼養学系」2人、「獣医基礎看護学系」3人、「獣医臨床看護学系」4人とする。

具体的なカリキュラム分類ごとの専任教員の配置及び本学科専任教員が担当する（分担当含む）こととしている科目数（自由科目を除く）は、次のとおりである。なお、科目の担当については、例えば、学科での学びへの導入教育科目である基礎教育のキャリアデザイン基礎、動物看護学概論など、必要に応じて学科専任教員全員あるいは所属する系をまたいで担当する場合もある。

なお、本学は令和4年度の文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ環境実現イニシアティブ（特性対応型）」に採択され、DEI（ダイバーシティ・エクイティ・インクルージョン）を推進することとしていることから本学科の専任教員の男女比のバランスを考慮し、女性教員の比率を30%として構成をした。

〔基礎教育〕	21科目のうち5科目 専任教員9人（教授4人、准教授2人、講師3人）
〔基礎動物学〕	13科目のうち7科目 専任教員4人（教授2人、講師2人）
〔基礎動物看護学〕	9科目のうち7科目 専任教員9人（教授4人、准教授2人、講師3人）

- [臨床動物看護学] 12 科目のうち 10 科目
専任教員 6 人（教授 1 人、准教授 2 人、講師 3 人）
- [愛護・適正飼養学] 7 科目のうち 6 科目
専任教員 3 人（教授 2 人、講師 1 人）
- [実験・実習] 10 科目のうち 10 科目
専任教員 9 人（教授 4 人、准教授 2 人、講師 3 人）

3. 教員組織の年齢構成

本学科が完成年度を迎える令和 9 年度には、学科専任教員のうち 60 代 4 人、50 代 2 人、40 代 2 人、30 代 1 人の年齢構成となる。年齢構成とともに、教育研究において豊富な経験と実績を有する教授、准教授、講師をバランス良く配置することで、教育研究の継続性を担保する。

XIII. 研究の実施についての考え方、体制、取組

本学は、研究の実施に当たって、本学の研究ブランドを確立するため「ヒト、動物又は生物を取り巻く環境」の幅広い研究分野を有する研究者の能力が最大限発揮できるよう研究支援を充実させること及び研究者各自の高い倫理観を醸成することを目的として、研究環境及び研究倫理の側面から体制を整備するものとする。なお、研究体制、取組については本学科設置にかかわらず現体制にて実施するものとする。

1. 研究環境

研究環境については、研究推進・支援本部を設置し、①中期目標・中期計画に基づいて研究大綱を策定し、それに基づき本学の研究の更なる活性化と発展に資する研究を発信すること、②分野横断的研究を支援する組織として、ヒトと動物共生科学センターの活動を通して、新たな学問領域の創設を目指すとともに、研究と教育の一体化を実現させ、本学の特徴を反映した研究体制を整備する。

具体的取組事項として、学内外の競争的資金の獲得に関すること、研究成果の知的財産として保護、活用に関すること及び産学官連携・共同研究の推進を行うものとし、手続等の円滑化を含め研究支援ハンドブックを発刊し一連の流れが視覚的に分かるよう努めている。

教員の研究費は学内の区分に応じて一律配分されているが、更なる研究力向上のため、競争的資金においては、学内にあっては目的別に若手教員の育成に係る補助金及び学際型（教員間の連携、学部横断型）の先端研究に係る補助金制度を設け、学外にあっては科学研究費補助事業等の外部資金獲得に向けた申請書のレビューなどをシニアリサーチメンターが支援するほか、競争的資金の確保に向けたセミナーを実施している。

研究シーズ発掘、知財マネジメント及び法務支援にあっては、リサーチアドミニストレーター（URA）を配置し、発明相談、特許業務相談等、社会や市場のニーズに係る情報を収集するとともに対象事案の顕在化を通して出口戦略を考案するほか、知財に係る学

生教育の支援を行うものとする。

産学官連携・共同研究にあつては、産学官連携コーディネーターを配置し、かながわ産学公連携推進協議会に加盟し連携した課題解決や起業からの共同研究シーズの提供に対する創出、企業とのマッチング資金の獲得支援、産学連携イベント出展時のアピール方法の支援を行うものとする。

なお、本学は1人1研究室を原則とするものの各教員の意思により共同研究や前述した学内取扱補助金による研究支援を行うほか、附置生物科学総合研究所の研究部門や研究部門に組織した、文部科学省私立大学研究ブランディング事業「動物共生科学の創生による、ヒト健康社会の実現」の後継事業であるプロジェクト研究の発展型の「ヒトと動物の共生科学センター」における研究の支援を行うこととする。

以上のような支援とともに外部資金受入獲得額、研究費獲得ランキング等の客観的データを活用しながら研究施策、支援体制を整備している。

2. 研究倫理

研究倫理については、競争的研究費の適正な運営・管理に関すること、研究活動不正における不正行為の防止に関すること及び研究倫理教育に関することを実施し、研究規範遵守に対する意識の醸成を継続的に実施する体制とする。

競争的研究費の適正な運営・管理に当たっては、麻布大学競争的研究費等の運営・管理に関する規程に基づき、学長を最高管理責任者として最終責任を担うものとし、不正防止計画の立案、不正行為の調査等に対応することを目的として、麻布大学競争的研究費等の運営・管理に関する規程に基づき、競争的研究費等管理委員会を設置し、適切な執行ができるよう「競争的資金等執行マニュアル」及び「競争的研究費等不正防止計画」を毎年度更新し、物品購入の際は物品購買システム（オフサイド）の使用を原則とすることを周知徹底する。

研究活動不正における不正行為の防止に当たっては、麻布大学における研究活動上の不正行為の防止及び対応に関する規程に基づき、研究倫理委員会を設置し、APRIN の e ラーニングプログラムの受講の義務付け、年に 2 回程度の研究倫理教育（研修会）を実施している。また、国のガイドラインや競争的研究費等不正防止計画に基づき、不正を起こさせない組織風土を形成することを目的として、四半期に1回の啓発活動としてメール配信による周知・注意喚起を行っている。なお、不正事案発生時は、同規程に基づき窓口、予備調査など各種手続等を行うこととしている。

XIV. 施設、設備等の整備計画

1. 校地、運動場の整備計画

本学は都心から近い神奈川県相模原市に位置し、①学理討究：建学の理念を具現化するキャンパス、②環境共生：人・動物・自然環境を意識するキャンパス、③安心・安全：あらゆる状況において危機管理が徹底された信頼性の高いキャンパス及び④持続・

繁栄：時を経るごとに価値を高めていくキャンパスを教育研究環境整備の基本方針に基づき整備している。

この環境共生と情報システムの整備を含む最新の教育研究設備が調和した環境の中に、2 学部 5 学科、2 研究科全ての組織を淵野辺キャンパスに設置しており、獣医学部獣医保健看護学科も同キャンパスに設置し、令和 6 年度からは 2 学部 6 学科、2 研究科を擁することとなるが、新学科の完成年度におけるキャンパス全体の収容定員の総数に変更はないため、引き続き十分な広さ及び充実した設備環境の中で本学科の教育課程を支える教育研究環境を維持する計画である。

(1)校地、運動場の整備計画

ア．校地、運動場の整備状況について

淵野辺キャンパスの校地面積にあつては 72,700m²、運動場にあつては 1,518m²であり、大学設置基準の 23,120m² を満たしている上、同一キャンパス内に整備されていることから、移動に要する時間や費用もなく十分な教育研究環境が整備されている。

イ．学生の休息、その他の利用のための適当な空地の整備状況

テラスいちょう（食堂・談話・自習室）、カフェテリアさくら（食堂）、ウィンドチャイム（談話・自習室）、学生ホール（クラブ活動）、クラブハウス（クラブ活動）が整備されている。テラスいちょうにあつては、1 階にはカフェテリア方式の食堂及び生活協同組合の売店、2 階には学生の自習・談笑可能なホール、セミナーやグループ学習など多様な用途のある多目的室（3 室）が設けられている。カフェテリアさくらにあつては、薪ストーブを中心とした温かい雰囲気のある建物であり、食堂は軽食、昼食のほか、談笑場所として利用可能である。なお、同食堂は就労継続支援 B 型として運営され、DEI 推進の一環として学生の憩いの場とともに障がい者と接することによる社会経験を重ね、理解浸透を深める場としても設けている。ウィンドチャイムにあつては、ペット同伴可能なラウンジ兼セミナー施設で、実習・ゼミ、各種イベントの場として設けている。

また、屋外に自然豊かな広場（1,796m²）を整備しており、その他の利用のための適当な空地も十分に確保されている。

(2)校舎等施設の整備計画

ア．校舎の整備計画

獣医保健看護学科の教育課程の実施に当たっては、全学の共同利用の 6 号館、7 号館、8 号館、9 号館、大教室、獣医学部棟、産業動物臨床センター、附属動物病院の講義室、演習室、実験実習室、情報処理施設を利用する。

なお、獣医学部獣医学科の参加型臨床実習、獣医保健看護学科の実習の充実を図ること、効率的な病院運営及び飼い主と教職員の利便性を考慮した施設を整備するため、附属動物病院の改築及び獣医臨床センターの改修工事を令和 5 年度に完了す

る予定である。

また、本学科の特色づけられる実習の実施のため、7号館1階にあつては令和6年度に改修工事を完了する計画である。

(3) 教員研究室の整備計画

専任教員の研究室は、本学科専任教員の9室を整備する。なお、学生とのコミュニケーションの充実を図りつつ、プライバシーが確保される環境を整備している。

〔研究室〕

場所	面積	室数	標準備品
6号館2、3階	27.45m ² ～164.34m ²	6	電話機、机、椅子、収納キャビネット、エアコンデিশヨナー
生命・環境科学部棟3階	115m ² ～144m ²	2	
7号館3階	201m ²	1	

(4) 講義室、実習室等の整備計画

獣医保健看護学科の教育課程の実施に当たっては、(1)校舎の整備計画で示したとおり、共用利用の講義室(44室)、実験実習室(30室)等を使用し、特に使用する教室は下表のとおりである。また、実習室別の主な機器及び器具等の整備計画は〔資料11〕のとおりであり、共用機器を活用しながら当該科目の実施の前年度までに整備する計画である。

なお、本学科の教育課程の実施に当たっては、学生数、授業形態の工夫を行い、時間割表を作成の上、他学部他学科の教育研究に支障なく施設・設備を利用可能なことを確認した。〔資料12〕

使用教室	区分	面積(平均)	収容定員
8号館2～5階	講義室、実習室	180 m ²	190人(平均)
9号館1～2階	講義室	217 m ²	180人(平均)
大教室	講義室	377 m ²	276人
7号館1階	実習室	28 m ²	15～30人程度
6号館4階	実習室	280 m ²	72人
獣医学部棟5～6階	実習室	230 m ²	96人
附属動物病院(獣医臨床センター)	実習室(講義室)	167 m ²	80人～90人
産業動物臨床センター	実習室、講義室	196 m ²	96人
コンパニオン・ドッグ・ラボラトリ	トレーニング室	141 m ²	70～75人程度
ロッカー室(生命・環境科学部棟)	－	110 m ² (男女合計)	男340人、女350人
自習室(獣医学部棟1階)	－	54m ²	128人

2. 図書等の資料及び図書館の整備計画

本学は、附属学術情報センターを設置し、全学共用利用として図書館、メディアステーション及びコンピューター教室（情報システム）2 つの施設を擁し、①基本的・標準的な図書資料に関して遺漏がないよう努め、新規に必要な資料を精査しつつ、適宜更新する、②対立する学説や意見が存在する問題に関しては、各立場の図書資料の公平な収集に努める及び③著者の思想的・宗教的・政治的立場にとらわれることなく収集することを方針として、教育研究活動に必要な図書、学術資料及び情報関連環境を整備している。

ア. 図書等の資料について

本学は教育理念に基づく学問領域に資する図書資料として、「麻布大学附属学術情報センター収書方針」及び「麻布大学附属学術情報センター選書要領」に基づき、各主題別の収集基準を設け、当該分野に造詣の深い選書担当が適切に選定し、質の維持を図っている。大学全体の蔵書数は図書 116,747 冊（外国書 24,339 冊を含む）、学術雑誌 11,374 種（外国書 6,363 種）、電子ジャーナル 6,595 種類、視聴覚資料 2,414 点、データベース 2 種類であり、獣医保健看護学科の学問領域に特に関わるものとして新たに図書を 47 冊、視聴覚資料 26 点を令和 6 年度設置時までには整備する計画である。〔資料 13、13-1、13-2、13-3〕獣医保健看護学科の学問領域は、併設する獣医学科、動物応用科学科との学問領域と密接に関わる部分も多い上、周辺領域として生命・環境科学部の学問領域とも基礎及び専門領域を補完することとなることから、蔵書、データベース及び電子ジャーナルと所蔵数については、共用利用として十分な範囲と規模を有している。

イ. 図書館の整備計画

本学科の教育課程の学修に当たり、全学共用の図書館（1,846m²）、メディアステーション（431,5m²）及びコンピューター教室（575,4m²）を利用する。図書館にあつては、キャンパス中央に位置する 3 階建ての建築物で、1 階にブラウジングルーム、新聞閲覧コーナー、共同閲覧室（2 室）、2 階に単行本利用に係るものとして、単行本用開架式書架、閲覧室（76 席）、複写室、蔵書検索用パソコン 3 台を整備し、3 階に雑誌利用に係るものとして、学術雑誌用開架式書架、閲覧室（54 席）、特別閲覧室（個室 5 室）、蔵書検索用パソコン 1 台を整備している。メディアステーションにあつては、図書館に隣接する 9 号館 1 階に位置し、教育研究及び学習に寄与する電子媒体情報資源に資するものとして、各種メディア貸出受付カウンター、閲覧席（120 席）、セミナー室（33 席）、電子ジャーナル・電子ブックの閲覧及びデータベース検索用パソコン 75 台、ポスター印刷機 1 台を整備し、レポート作成、論文作成のほか、学会発表用のポスター制作の支援なども実施しており、電子情報資源の利用、研究成果の対外的発表を支援する環境が整備されていることから、収容定員に鑑み適切な整備状況である。

なお、図書館とメディアステーションは連絡通路で連結され、利便性が高い上、障がい者対応として図書館、メディアステーションともに建物入口付近にスロープを設け、入館ゲートや通路は、無理なく車椅子での通行が可能なほか、図書館はエレベーター移動可能なように配慮されている。

図書館及びメディアステーションの開館時間は授業のある期間にあつては平日 8 時 30 分から 21 時、土曜日 10 時から 18 時、授業のない期間にあつては平日 9 時から 17 時までである。なお、新型コロナウイルス感染防止対策の観点から、感染状況により日曜日・祝日は休館とするものとする。

利用者の蔵書検索は、学内外から OPAC (Online Public Access Catalog) が利用可能であり、図書館内に設置された専用の蔵書検索用パソコンだけでなく、スマートフォン対応もしており、マイライブラリ機能により貸出期間の延長、返却期限や、予約状況の確認が可能である。データベース検索にあつては、ディスカバリーサービスによるデータベースの横断検索が可能で、検索画面からリンクリゾルバ機能によりフリーアクセスの電子ジャーナルのフルテキストを閲覧可能にするなど、利便性高く目的のものを入手できるよう対応している。なお、学外からは一部を除いてデータベース、電子ジャーナル、電子ブックの利用を VPN 接続サービスにより可能としている。

なお、図書館、メディアステーションには Wi-Fi が設置されているため、同施設に設置しているパソコンのほか、学生が所有するノートパソコン、タブレット、スマートフォンでの電子資料の閲覧やデータベース検索を可能とし、利便性と教育研究の促進をしている。

学生及び教職員を対象に教育研究に有用なデータベースの提供会社や電子ジャーナル出版社による Web セミナー、オンライン講習会を実施し、情報提供と利用ツールの促進に努めている。また、新入学者を対象に大学の情報システムの利用方法に係るオリエンテーションを実施し、利用方法の理解浸透を図っている。

コンピューター教室にあつては 3 室設置し、講義・演習以外の時間は学生の学習を促す場所としてオープンルームとして開放している。

ウ．他大学図書館等との協力体制

国内外の教育研究機関との学術情報相互提供システムとして、国立情報学研究所 (NII) に参加し、NACSIS-CAT (オンライン共同分担目録) と NACSIS-ILL (図書館間相互貸借サービス) により、各大学と連携して学術情報の効率的な入手、提供を展開している。

本学が所在する相模原市内にあつては、大学等図書館 (青山学院大学万代記念図書館、和泉短期大学附属図書館、北里大学図書館 (相模原キャンパス内各図書館))、相模女子大学附属図書館、女子美術大学相模原図書館と相模原市立図書館との相互協力の協定を締結し、相互協力と情報交換を行い学術情報の相互貸借、地域サービスにも対応を行っている。

また、大学図書館コンソーシアム連合、日本医学図書館協会、神奈川県図書館協会の学術情報機関に加入し教育研究に資する情報の提供、相互利用を行い、充実化を図っており、引き続き体制を維持する計画である。

XV. 管理運営及び事務組織

1. 教授会

獣医学部獣医保健看護学科の管理運営は、「麻布大学学則」及び「麻布大学獣医学部規則」に基づき、獣医学部教授会によってなされる。教授会は学部長が招集し、その議長となり、原則として、毎月1回、必要時応じて臨時に開催され、構成員は専任教員の教授、准教授、講師及び助教とし、構成員の半数以上の出席により成立する。

教授会では学長又は学長及び学部長が司る次の事項を審議事項とし、学長の決定に当たり、意見を述べるものとして学部運営を行っており、学校法人事務組織規程に基づき教務部教務課が教授会運営に係る事務を所掌し、円滑な会議運営を図ることとする。

なお、麻布大学の管理運営体制は〔資料14〕のとおりである。

- (1) 学部学生の入学、卒業及び課程の修了に関すること。
- (2) 学士の学位の授与に関すること及びそのほか教育研究に関する重要な事項
- (3) 大学教員の採用候補者の選考及び昇任候補者の選考に関すること。
- (4) 大学教員の所属研究室の配置換えに関すること。
- (5) 獣医学部長の候補者の選考に関すること。
- (6) 獣医学部の教育課程の編成に関すること。
- (7) 獣医学部の教育課程の実施、単位の認定に係る試験の実施及び授業科目の履修に関すること。
- (8) 学生の退学、留学及び休学に関すること。
- (9) その他学部長が必要と認めた事項

2. 学生の厚生補導

学生の厚生補導については、社会的・職業的自立に関する指導等の実施体制〔資料15〕のとおり、「麻布大学における学生への総合的支援に関する規則」及び「麻布大学における修学支援を必要とする学生への対応に関する規則」、「麻布大学における障がい等により支援を必要とする学生の対応に関する規則」及び「麻布大学における精神面の支援を必要とする学生の対応に関する規則」に基づく基本方針の下、学生が学修活動に専念し、一人ひとりが人間的成長を達成できるよう全学的組織として、学生生活支援、学習・修学支援、健康支援及びキャリア・就職支援の4側面から支援を実施する。

(1) 学生生活支援

学生生活の充実を図ることを目的として、学生委員会を設置し、教務・学生生活を所掌する学長補佐を委員長とし、学生の生活指導及び補導、奨学金、学納金、賞罰、

団体、課外活動、福利厚生等について取扱いを協議し、適切な支援体制を整備している。

また、麻布大学ハラスメント等人権侵害防止ガイドラインに基づき、ハラスメント防止と被害からの回復を目的としてハラスメント防止委員会を設置するほか、ハラスメント相談室を設置、相談員を配置し、学生から相談があった際の報告、調査など相談者の健全な学業・教育研究環境の救済、回復のため、個人情報の取扱いを厳重にした上で体制を整備している。

なお、事務組織体制については、学生生活にあつては学生支援課、ハラスメントにあつては人事課が所掌するが、迅速な対応のため必要に応じて教務課と連携して支援にあたるものとする。

(2) 学習・修学支援

①留年、退学、進級等への支援

留年又は命令退学が確定する者又は危ぶまれる者、進級及び卒業の各要件の理解が乏しい者、必修科目の欠席が顕著な者等に対して早期の状況把握、分析を行い、効果的かつ具体的な対策を講じることを目的として、学生指導委員会を設置し、厚生指導を所掌する学長補佐を委員長とし、修学支援の実施内容・方法等に関すること、当該学生の父母等及び学内関係(研究室担当教員)の意見聴取に関すること、学習上の指導内容等について検討し、修学に関する継続的な支援体制を整備している。

②学習支援

多様な学力、資質を持つ学生が学習環境に適応し、高いモチベーションを維持した学習支援をすることを目的として、附属機関の大学教育推進機構教育推進センターにおいて開設する科目のうち、教養に係る科目の学修のためのリメディアル教育(補習教育)、入学後の円滑な授業受講に係る準備教育(入学前準備教育プログラム)及びチューターによる個別学生指導等による支援体制を整備している。

リメディアル教育にあつては、本学の学問領域全般に深く関与する生物学、化学の教養教育を行うほか、各学科の教育課程を履修するに当たり、入学者全員が受検するプレースメントテストの結果、修学状況により支援が必要な者と判断される者を対象に当該センターから学科特化型リメディアル教育の受講を促し、円滑な修学を支援している。

チューターの個別指導にあつては、学生自身が教養科目を学習上で生じた疑問について個別指導を受講可能な体制を整備している。

③障がいのある学生に対する修学支援

身体障がい、知的障がい、精神障がい、発達障がい等心身の機能障がいがあり、障害者手帳や診断書を有する者で、学生から修学及び学生生活について特別な措置を希望する者に対して、要支援学生の早期把握、支援を目的として、障がい学生支

援委員会を設置し、厚生補導を所掌する学長補佐を委員長とし、具体的支援・体制、施設・設備等に関する事項について検討を行い、修学の継続的支援体制を整備している。

障がいのある学生への具体的な支援制度として、障がい者支援チームを設置し、受験・入学前、入学時選抜、修学支援、進路・キャリア支援、キャンパス環境の整備、学生・教職員への支援方法に係る啓発など、入学前から卒業まで合理的配慮に基づいた支援を資料 16 の体制で実施することとする。

なお、事務組織体制については、学習支援にあつては教務課、修学支援にあつては学生支援課が所掌し、相互連携して支援にあたるものとする。

(3) 健康支援

学生の心身の健康管理に関する専門的業務を総括的に行うことを目的として、健康管理センターを組織し、専任教員を兼ねる産業医、看護師を配置している。また、健康診断、当該センターの整備、健康維持等に関することを取り扱うことを目的として健康管理委員会を設置し、健康管理センター長を委員長とし運営を行うこと、精神面上の理由により学業の継続に困難をきたした者等に対して早期の状況把握、具体的な対策を講じることを目的としてメンタルヘルス委員会を設置し、厚生補導を所掌する学長補佐を委員長として、判断に必要な情報収集、学士負担者等を含む関係者の意見聴取に関することを検討し、心身の健康支援体制を整備している。

また、精神的な支援体制の 1 つとして、学生生活で生じる学生の様々な悩みや問題の対応を目的として学生相談室を設置し、週 3 日、公認心理師・臨床心理士を配置するほか、非常勤精神科医を月 2 回配置し学生の幅広いメンタルヘルスケアの支援体制を整備している。

なお、事務組織体制については、学生生活を所掌する学生支援課が所掌し支援にあたるものとする。

(4) キャリア・就職支援

キャリア支援、就職支援及びインターンシップ推進に係る対策・施策を目的として、キャリア・就職支援対策委員会を設置し、就職支援を所掌する学長補佐を委員長とし、指導、相談、情報収集等について検討し、支援体制を整備している。

キャリアサポートに当たっては、就職相談室及び就職閲覧室を設置している。就職相談室にあつては、キャリアコンサルタントや学問領域に専門性の高い者を含め就職相談員を 4 人配置し、入学後から学生自身がキャリア形成できるよう相談、助言により支援を行い、就職閲覧室にあつては、求人情報、関連図書の貸出、卒業生の進路先、障がい者就職支援等の情報提供をしている。

また、進路選択、指導に係るガイダンスは、本学独自のキャリアサポートガイドブックを用いて各学科の修業年限を考慮して行うこととし、本学科では 3 年次に実施す

る。

なお、事務組織体制については、キャリア支援を所掌するキャリア支援課が所掌し、就職相談員と連携して、意見交換を含む課題共有を行うほか、必要に応じて学習支援を所掌する教務課と連携して支援に当たるものとする。

XVI. 自己点検・評価

麻布大学内部質保証規程に基づき、理念、目的、各種方針等に基づいて、教育研究活動その他大学の諸活動を恒常的に自己点検・評価し、その結果を検証して改善に結び付けるため、資料 17 のとおりの内部質保証体制において教育研究の質を継続的に向上させ適切な水準の維持及び充実に努めている。

内部質保証責任組織としては、全学の教学マネジメントを行う教育研究会議が担うとともに、全学の自己点検・評価組織の役割を担い、各部局に自己点検・評価組織を設置し、教育研究会議と有機的連携を図りながら定期的、具体的に自己点検・評価を実施する。

各部局における自己点検・評価は、毎年度、理念・目的、教育研究組織など 12 項目（その他学長が定める事項を含む）〔資料 17〕のいずれかの事項について必要に応じて成果や達成度を含め結果を書面にて教育研究会議に報告し、学長は内部質保証の方針に基づいた内容であるか検証し、改善事項については、認証評価機関である公益財団法人大学基準協会の大学評価結果からの指摘事項を含め意見を付して当該部局に取組を指示するものとする。

また、教育活動等の検証は、3 つのポリシーであるディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッションポリシー及びアセスメントポリシーに基づいて行うものとし、個々の教員等による検証（授業レベル）、部局による検証（プログラムレベル）及び全学的な観点による検証（大学レベル）の段階的に行うこととし、PDCA を循環させ施策の実行とともに教育研究の質の継続的に向上させ、適切性を点検・評価することとする。

自己点検・評価結果及び学園監事による監査結果の公表は、学長が必要と判断したものは速やかに行うほか、教育活動等の改善・改革状況の透明性を担保すべく内部質保証に係る情報を積極的に学外に公表する。

大学の自己点検・評価にあつては、自己点検・評価の結果の妥当性と客観性を高めるため、外部評価を実施する機関として外部評価委員会を設置し、学外の有識者による検証及び評価を行い、その結果を教育研究会議において報告し、学長は各部長等に改善への取組を指示することで学内外における内部質保証体制により適切に運営を実施する。

公益財団法人大学基準協会による認証評価にあつては、平成 29 年度に受審し、「適合」の判定を得ており、その結果は大学の公式ホームページに掲載しており、次回は令和 6 年度に受審を予定している。

XVII. 情報の公表

本学は、学校教育法第 113 条及び学校教育法施行規則第 172 条の 2 に基づき、以下のとおり、各学部及び大学院各研究科における教育研究活動等の状況について、本学の公式ホームページにより、広く社会に向けて開示している。

1. 大学の教育研究上の目的及び 3 ポリシーに関すること

大学、学部、大学院の教育研究上の目的を定め、公式ホームページの＜大学情報公開＞において公表している。

https://www.azabu-u.ac.jp/about/files/yoran_20221024__1.pdf

「教育研究上の目的」：トップ＞大学情報公開＞大学要覧

2. 教育研究上の基本組織に関すること

本学の教育研究上の基本組織については、公式ホームページの＜大学概要＞において機構図として、各事務局、附属施設の組織名称と併せて学部及び研究科の名称を公表している。

<https://www.azabu-u.ac.jp/about/org.html>

「組織」：トップ＞大学概要＞組織

3. 教員組織、教員の数及び各教員が有する学位及び業績に関すること

教員組織、教員の数及び各教員が有する学位、年齢構成については、公式ホームページの＜大学概要＞において公表している。

https://www.azabu-u.ac.jp/about/files/yoran_20221024__1.pdf

「教員組織等」：トップ＞大学概要＞大学情報公開＞大学要覧

業績や研究者情報については、対外的な研究活動を推進することとして科学技術振興機構（JST）が提供する研究者総覧を活用し公式ホームページ＜研究・産学官連携＞において公表している。

https://www.azabu-u.ac.jp/academic_graduate/lab/teacher/

「研究活動」：トップ＞研究・産学官連携＞研究活動

4. 入学者に関する受入方針及び入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者その他進学及び就職等の状況に関すること

アドミッション・ポリシーにあっては、公式ホームページの＜学部・大学院＞においてディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーとともに公表している。

収容定員及び学生数、卒業者数は公式ホームページの＜大学概要＞において公表している。

就職者及び進学者の状況については、公式ホームページの＜就職・キャリア＞におい

て公表している。

https://www.azabu-u.ac.jp/academic_graduate/

「アドミッション・ポリシー」：トップ>学部・大学院

https://www.azabu-u.ac.jp/about/files/yoran_20221024__1.pdf

「収容定員等」：トップ>大学概要>大学情報公開>大学要覧

<https://www.azabu-u.ac.jp/carrier/interview.html>

「就職等実績」：トップ>就職・キャリア>就職・進路実績/卒業生メッセージ

5. 授業の科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

本学では、入学から卒業までの授業科目の履修方法、授業の方法、成績等の開示など履修に係る事項をとりまとめた履修ガイドを公式ホームページの<在学生・保護者の方>において公表している。また、授業内容や授業計画を網羅したシラバスデータベースシステムは公式ホームページ<学部・大学院>において公表している。

https://www.azabu-u.ac.jp/for_student/guide/

「履修ガイド」：トップ>在学生・保護者の方>履修ガイド

<https://syllabus.azabu-u.ac.jp/web/show.php>

「シラバス」：トップ>学部・大学院>シラバス・主な授業科目

6. 学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

学修の成果に係る評価等の基準（アセスメントポリシー）及び卒業等の認定に当たっての基準にあつては、公式ホームページの<在学生・保護者の方>において公表している。

https://www.azabu-u.ac.jp/for_student/guide/

「学修の成果」：トップ>在学生・保護者の方>履修ガイド>麻布大学学修の成果に係る
評価等の基準（アセスメントポリシー）

「卒業等の認定」：トップ>在学生・保護者の方>履修ガイド>

7. 校地・校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

校地・校舎等の施設等については、公式ホームページの<キャンパスライフ>において公表している。

https://www.azabu-u.ac.jp/for_student/guide/

「キャンパスライフ」：トップ>キャンパスライフ>

8. 授業料、入学料その他の大学が徴収する費用に関すること

授業料等については、公式ホームページの＜情報公開＞において、麻布大学学則及び大学院学則にて公表している。

https://www.azabu-u.ac.jp/reiki/reiki_menu.html

「学納金等」：トップ＞大学概要＞規程集＞麻布大学学則

9. 大学が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

大学が行う、奨学金、ハラスメント防止、健康診断、学生相談室、キャリア支援など各種支援に関することについては、公式ホームページの＜在学生・保護者の方＞において公表している。

https://www.azabu-u.ac.jp/campus_life/support.html

「キャンパスインフォメーション」：トップ＞キャンパスライフ＞学生生活支援

10. その他（教育上の目的に応じ学生が修得すべき知識及び能力に関する情報、学則等各種規程、設置認可申請書、設置届出書、設置計画履行状況等報告書、自己点検・評価報告書、認定評価の結果等）

本学におけるアドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシー、教育研究上の目的及び養成する人材像、各種規程等については、公式ホームページの＜大学概要＞、において公表している。

https://www.azabu-u.ac.jp/campus_life/support.html

「3 ポリシー」：トップ＞大学概要＞大学情報公開＞大学要覧

「各種規程」：トップ＞大学概要＞規程集

「設置認可申請書等」：トップ＞大学情報公開＞認可申請書・設置届出書

「認証評価等」：トップ＞大学情報公開＞麻布大学に対する大学評価（認証評価）結果、麻布大学獣医学部獣医学科に対する獣医学教育評価結果

11. 大学院設置基準第 14 条の 2 第 2 項に規定する学位論文に係る評価に当たっての基準

本学大学院獣医学研究科及び環境保健学研究科の学位論文に係る評価基準は、公式ホームページの＜在学生・保護者の方＞において公表している。

https://www.azabu-u.ac.jp/for_student/guide/guide_g.html

「大学院評価基準」：トップ＞在学生・保護者の方＞履修ガイド＞獣医学研究科又は環境保健学研究科

XVIII. 教育内容等の改善を図るための組織的な研修等

1. FD 活動の推進に係る全学体制

麻布大学ファカルティディベロップメント推進規程に基づき、授業及び研究指導の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究に係る取組について、専任教員から構成される教務委員会及び大学教育推進機構 教育方法開発センターが中心的にシラバ

スの定期的点検、学生による授業評価、授業評価において高い評価を得た教員の表彰（グッドティーチング賞）、研修会、相互授業参観等を具体的取組事項として推進する。FD 推進に当たっては、学長、大学教育推進機構長、教務委員長、学部長、学科長等の教学系役職者だけでなく全教員が責務を負うものとし、具体的取組を通じて、教育内容・方法等について、不断の改善を図ることとする。

FD 研修会は、年に少なくとも 2 回開催、全教員の参加を必須とし、研修内容は本学における教育改善に特に必要と思われる事項を選定し、外部講師を招聘して実施するほか、当該センターが開発した ICT・遠隔授業を基盤とした教育手法の普及促進や評価方法等について組織的な研修を実施する。FD 研修会の対象者は原則教員であるが、全学的な教育推進に対して理解を深化するため事務職員の参加も奨励する。

なお、学長の推進事業として教員による教育改善のプログラム支援のため、「教育改善プログラム」を設け、優れた教育プランを選定された者に対して費用を支援し、成果報告を FD 講演会をもって全学的な教育活動の活性化を図っている。

2. SD 活動の推進に係る全学体制

麻布大学スタッフディベロップメント推進規程に基づき、教育研究活動等の適切かつ効果的な運営を図るため、その教職員に必要な知識及び技能を習得させ、並びにその能力及び資質を向上させるため、ハラスメント防止対策、研究推進・支援、研究倫理・研究費不正防止対策、バイオセキュリティ、事務組織、学園役員及び教学役職者に関する各種研修等を取組事項として推進する。SD 推進に当たっては、学長、学長補佐、事務局長役職者だけでなく全教職員が推進の責務を負うものとし、具体的取組を通じて、必要な能力及び資質を向上させることとする。

SD 研修会は、前述の具体的取組に資する研修内容について、学園又は全学的な運営、社会情勢を踏まえて、全学的組織の各分掌の組織及び事務組織と協力の上、特定の職域や職階を対象とするものを除いて全教職員を対象とし適宜開催する。令和 4 年度においては 34 件の研修会が実施され、開催方法は対面式、対面と Web 会議システムのハイブリッド方式など、多数の教職員が参加できるよう工夫を施すものとする。

SD 推進における取組方針及び方策を企画検討するため、SD 研修会を設置し、学長を委員長として SD 研修会の実施状況を確認するとともに、必要に応じて改善勧告を行うなど、効果的な運営体制にて実施するものとする。

XIX. 社会的・職業的自立に関する指導等及び体制

社会的・職業的自立に関する指導等の組織的な実施体制は資料 15 のとおりである。

1. 教育課程内の取組について

麻布大学で学ぶ者全てに対して教育研究理念である「地球共生系（人と動物と環境の共生を目指して）」を理念共有した上で各学科の専門的領域への学びへと接続するため、全学共通科目（麻布スタンダード科目）として「地球共生論」を配置している。本

学科の養成する人材像及びディプロマ・ポリシーに基づき、論理的思考、問題発見力、問題解決能力、コミュニケーション力、自己発信力を重点的に身に着けるため、教育課程内のうち、社会的・職業的自立に関わりのある授業科目として、1年次に「キャリアデザイン基礎」、「キャリアデザインフィールドスタディ」、「動物看護学概論」、3年次に「キャリアデザイン応用」及び「ペット関連産業概論」を配置している。「キャリアデザイン基礎」にあつては、自己実現のためのキャリア形成について改めて考えられるよう、学生生活全般に係ることや関心が高いと思われる動物福祉に係る事項を含めながらグループワークを積極的に取り入れることとする。「動物看護学概論」にあつては、愛玩動物看護師の社会的責務を動物看護の歴史、倫理、役割をとおして学ぶ基盤とする。一方、「キャリアデザインフィールドスタディ」にあつては、愛玩動物看護師の素養を活かすキャリアへの視野を広げるため、海外における人と動物の関係、動物福祉、コミュニティ又は畜産業界でのフィールドワークを主として見地を広げるものとする。「キャリアデザイン応用」にあつては、1年、2年次において教養に係る科目、専門科目を学び体系的に学修をしていく中で、就職活動が本格化する時期と合わせて、アセスメントテストを用いながら具体的なキャリア形成とともに進路先において必要となる心構えや経営学や組織マネジメントの考え方、意識醸成を図ることとする。「ペット関連産業概論」にあつては、ペット関連産業及び動物取扱業における職業倫理・行動倫理、産業の概要や市場規模と現状の課題を理解し、実践的知識と手法を修得するとともに、前述のキャリアデザイン応用と併せて就職活動における自身の適性判断に活用するものとする。

以上の科目により、愛玩動物看護師の社会的責務、役割、専門性、それを取りまく医療従事者、動物、飼い主等の関係をとおして学生の自己実現のためのキャリアを体系的に考えることで社会的・職業的な自立につなげるものとする。

2. 教育課程外の取組について

(1) 動物共生科学ジェネラリスト育成プログラム

本学は令和2年度に文部科学省「知識集約型社会を支える人材育成事業（メニューⅡ：出る杭を引き出す教育プログラム）」に採択され、「動物共生科学ジェネラリスト育成プログラム」に取り組んでおり、当プログラムは本学の特色ある人材育成法として、研究を通じたSTEM型教育プログラムによって幅広い科学的な知識と理解、現実的課題に対応した実践力、応用力を備えたヒト・動物・環境の持続的健康社会の構築のために世界をリードする人材を育成することを目的としており、令和4年度までに学部横断型研究プロクジェクト及びプログラム参加生の活発化、学生の修学状況を解析するためのLearning Analyticsの実装、大学院における早期履修の制度化、高大接続の推進により4校と協定を締結したこと、修学マネジメント体制として麻布大学教育推進機構の設置など、文部科学省による中間評価においても最高評価である「S」を獲得している。当プログラムの最も特徴的な事項として、大学生にあつては1年次から本格的な研究に

参加できることであり、参加による学生のジェネリックスキル（リテラシー及びコンピテンシー）の効果測定において、非参加学生と比較して、サイエンスリテラシーにあつては、情報精査力、研究デザイン知識、統計的スキル、コンピテンシーにあつては、リーダーシップ、目標設定、状況把握能力が高いことから、プログラムに参加した学生を対象に、経験とアピールポイントの発信方法などの就職活動支援し、学生の教育課程外での取組において身に付けられた能力を最大限活かすことができるよう社会的・職業的な自立につなげるものとする。

(2) 各種キャリア支援

キャリア支援として、キャリア形成講座、インターンシップ支援、就職活動対策・実践講座、関連特別講座、模擬面接会、企業説明会、公務員対策講座、就職活動実習、模擬試験等を開催し、講座によってはキャリア支援に精通した外部講師を招聘するとともに、学内における支援体制と連携を図り、キャリア形成とともに進路への実践的アプローチ支援を行い、社会的・職業的な自立につなげるものとする。

設置の趣旨等を記載した書類
獣医保健看護学科

【資料目次】

資料 1	麻布大学獣医学獣医保健看護学科カリキュラムツリー	p. 2
資料 2	麻布大学獣医学部獣医保健看護学科履修モデル	p. 3
資料 3	麻布大学獣医学部獣医保健看護学科編入学に伴う既修得単位数 読替表	p. 4
資料 4	麻布大学獣医学部獣医保健看護学科履修モデル（編入学）	p. 5
資料 5	麻布大学獣医学部獣医保健看護学科における臨床実習施設一覧	p. 6
資料 6	学校法人麻布獣医学園麻布大学と公益社団法人日本動物病院協 会との連携協力に関する包括協定書	p. 11
資料 7	麻布大学の看護臨床教育に係る実施協定書	p. 12
資料 8	学生に許容される動物看護業務の範囲	p. 13
資料 9	実習生評価表	p. 14
資料 10	誓約書	p. 15
資料 11	実習室別の主な機器及び器具等の整備計画	p. 16
資料 12	麻布大学獣医学部獣医保健看護学科授業時間割表	p. 20
資料 13	麻布大学獣医学部獣医保健看護学科図書・雑誌一覧	p. 22
資料 13-1	麻布大学獣医学部獣医保健看護学科視聴覚教材一覧	p. 24
資料 13-2	麻布大学獣医学部獣医保健看護学科における電子ジャーナル一 覧	p. 25
資料 13-3	麻布大学におけるデータベース一覧	p. 27
資料 14	麻布大学管理運営体制	p. 28
資料 15	社会的・職業的自立に関する指導等の実施体制	p. 29
資料 16	障がい学生等支援体制概略図	p. 30
資料 17	麻布大学内部質保証体制図	p. 31

DP1

愛玩動物看護師としての基礎及び専門分野の学問内容についての知識を有し、獣医療の補助、動物の看護、動物愛護及び適正飼養に対応できる専門家としての技術と実践力を持つ

DP2

動物看護領域における動向や最先端科学から得られるエビデンスに基づく情報を読み解き、課題発見・課題解決にあたることのできる科学リテラシーを備える

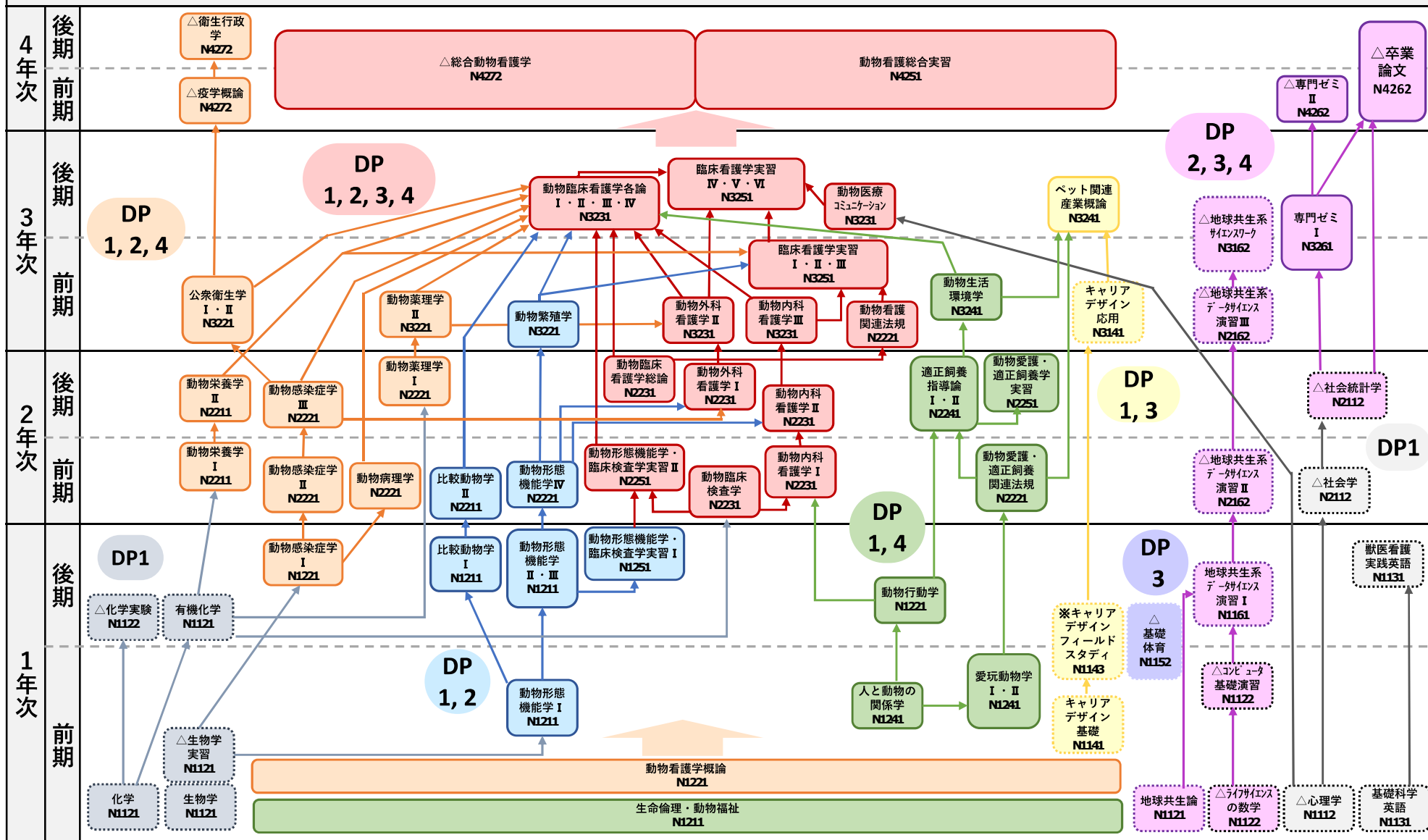
DP3

飼い主や獣医師など周囲との密なコミュニケーションを介した獣医療の充実化に寄与するコンピテンシーを備える

DP4

ヒトと動物の共生の在り方や倫理観、道徳観を養い、その高い視座から獣医療の進歩や生命科学に関する社会のニーズに持続的に対応しうる柔軟さと学習意欲を持ち、ヒトと動物の共生社会の発展に貢献する能力を持つ

愛玩動物看護師国家試験



☆基礎教育系科目により、専門共通系科目を理解するための基礎知識を身につける

☆専門共通系科目の導入科目により、動物看護師の役割を理解し、修学意欲を高める

☆基礎動物学・基礎動物看護学・臨床動物看護学・愛護・適正飼養に関する専門知識および技術を身につける

☆ヒトと動物の共生に関わる情報の適切な理解と解析手法を身につける

☆愛玩動物看護師としてチーム獣医療実践のための高い専門性とコンピテンシーを養う

☆ヒトと動物の共生という高い視座を持つべくリテラシーとコンピテンシーを向上させる

☆国家試験対策科目を通して国家資格取得を目指す

【履修モデル】 ●必修科目、△選択科目

卒業要件124単位

分類		1年次		2年次		3年次		4年次	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
基礎教育系科目	キャリア 自然科学 外国語 人文・社会科学 保健体育	●キャリアデザイン基礎(1) ●生物学(2) △生物学実習(1) ●化学(2) △ライフサイエンスの数学(2) △コンピュータ基礎演習(1) ●地球共生論(2) ●基礎科学英語(2) △心理学(2)	●有機化学(2) △化学実験(1) ●獣医看護実践英語(2)	△社会学(2)	△社会統計学(2)	●キャリア デザイン応用(2)			
	データ サイエンス		●地球共生系 データサイエンス演習Ⅰ(1)	△地球共生系 データサイエンス演習Ⅱ(1)		△地球共生系 データサイエンス演習Ⅲ(1) △地球共生系サイエンスワーク(2)			
専門共通系科目	基礎動物学	●動物形態機能学Ⅰ(2) ●生命倫理・動物福祉(2)	●動物形態機能学Ⅱ(2) ●動物形態機能学Ⅲ(2) ●動物行動学(2) ●比較動物学Ⅰ(2)	●動物形態機能学Ⅳ(2) ●比較動物学Ⅱ(2) ●動物栄養学Ⅰ(2) ●動物愛護・ 適正飼養関連法規(1)	●動物栄養学Ⅱ(2)	●動物繁殖学(2) ●動物看護関連法規(1)			
	基礎動物看護学	●動物看護学概論(2)	●動物感染症学Ⅰ(2)	●動物感染症学Ⅱ(2) ●動物病理学(2)	●動物感染症学Ⅲ(2) ●動物薬理学Ⅰ(2)	●動物薬理学Ⅱ(2) ●公衆衛生学Ⅰ(2) ●公衆衛生学Ⅱ(2)			
	臨床動物看護学			●動物内科看護学Ⅰ(2) ●動物臨床検査学(2)	●動物内科看護学Ⅱ(2) ●動物外科看護学Ⅰ(2) ●動物臨床看護学総論(2)	●動物内科看護学Ⅲ(2) ●動物外科看護学Ⅱ(2)	●動物医療コミュニケーション(2) ●動物臨床看護学各論Ⅰ(2) ●動物臨床看護学各論Ⅱ(2) ●動物臨床看護学各論Ⅲ(2) ●動物臨床看護学各論Ⅳ(2)		
	愛護・ 適正飼養学	●愛玩動物学Ⅰ(2) ●愛玩動物学Ⅱ(2) ●人と動物の関係学(2)			●適正飼養指導論Ⅰ(2) ●適正飼養指導論Ⅱ(2)	●動物生活環境学(2)	●ペット関連産業概論(2)		
	実験・実習		●動物形態機能学・ 臨床検査学実習Ⅰ(1)	●動物形態機能学・ 臨床検査学実習Ⅱ(1)	●動物愛護・ 適正飼養学実習(2)	●臨床看護学実習Ⅰ(1) ●臨床看護学実習Ⅱ(1) ●臨床看護学実習Ⅲ(1)	●臨床看護学実習Ⅳ(1) ●臨床看護学実習Ⅴ(1) ●臨床看護学実習Ⅵ(1)	●動物看護総合実習(4)	
	選択							△総合動物看護学 (国家試験対策)(4)	
	探求・研究					●専門ゼミⅠ(2)		△卒業論文(6)	
単位合計		(44)		(39)		(40)		(14)	

動物応用科学科から獣医保健看護学科への編入学者の
基礎教育科目及び専門科目単位認定一覧

基礎教育系科目

獣医保健看護学科				動物応用科学科			
開講科目	配当年次	区分	単位数	読替該科目	配当年次	単位数	備考
【一括認定】 基礎教育系科目 人文・社会科学系科目			4	基礎教育系科目群 人文科学系科目	1～2	2	2年次までの進級要件
				基礎教育系科目群 社会科学系科目	1～2	2	
基礎体育	1	選択	2	基礎体育	1	2	学科の選択科目
コンピュータ基礎演習	1	選択	1	コンピュータ演習	1	1	学科の必修科目
ライフサイエンスの数学	1	選択	2	ライフサイエンスの数学	1	2	学科の必修科目
生物学実習	1	選択	1	生物学実験	1	1	学科の必修科目
化学実験	1	選択	1	化学実験	1	1	学科の必修科目
生物学	1	必修	2	生物学	1	2	学科の必修科目
化学	1	必修	2	化学	1	2	学科の必修科目
有機化学	1	必修	2	有機化学	1	2	学科の必修科目
地球共生論	1	必修	2	地球共生論	1	2	学科の必修科目
基礎科学英語	1	必修	2	基礎科学英語	1	2	学科の必修科目
計			21				21

専門共通系科目

獣医保健看護学科				動物応用科学科			
開講科目	配当年次	区分	単位数	読替該科目	配当年次	単位数	備考
人と動物の関係学	1	必修	2	動物人間関係学	2	2	学科の必修科目
生命倫理・動物福祉	1	必修	2	動物福祉論	2	2	学科の必修科目
動物形態機能学Ⅰ(解剖学・組織学)	1	必修	2	動物機能解剖学	1	2	学科の必修科目
動物形態機能学Ⅲ(生理学Ⅰ)	1	必修	2	動物生理学	1	2	学科の必修科目
動物行動学	1	必修	2	応用動物行動学	2	2	学科の必修科目
				動物行動治療学	3	2	学科の必修科目
動物病理学	2	必修	2	動物病態学	2	2	学科の必修科目
動物栄養学Ⅰ(※1)	2	必修	2	動物栄養学	3	2	学科の必修科目
計			15				18

※1.ただし、12回目と13回目の授業は受講すること。

☆基礎教育系科目により、専門共通系科目を理解するための基礎知識を身につける
 ☆専門共通系科目の導入科目により、動物看護師の役割を理解し、修学意欲を高める
 ☆基礎動物学・基礎動物看護学・臨床動物看護学・愛護・適正飼養に関する専門知識
 および技術を身につける
 ☆ヒトと動物の共生に関わる情報の適切な理解と解析手法を身につける



☆愛玩動物看護師としてチーム獣医療実践のための高い専門性とコンピテンシーを養う
 ☆ヒトと動物の共生という高い視座を持つべくリテラシーとコンピテンシーを向上させる
 ☆国家試験対策科目を通して国家資格取得を目指す

卒業要件124単位

【履修モデル】 本学動物応用科学科卒業者が獣医保健看護学科2年次に編入学した場合（基礎教育系科目必修10単位、専門共通系科目14単位、選択科目10単位取得済） ●必修科目、△選択科目

分類		2年次		3年次		4年次	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期
基礎教育系科目	キャリア外国語	●キャリアデザイン基礎(1)	●獣医看護実践英語(2)	●キャリアデザイン応用(2)			
	データサイエンス		●地球共生系データサイエンス演習Ⅰ(1)	△地球共生系データサイエンス演習Ⅲ(1)			
専門共通系科目	基礎動物学	●動物愛護・適正飼養関連法規(1) ●動物形態機能学Ⅳ(2) ●動物栄養学Ⅰ(2) ●比較動物学Ⅱ(2)	●比較動物学Ⅰ(2) ●動物形態機能学Ⅱ(2) ●動物栄養学Ⅱ(2)	●動物看護関連法規(1) ●動物繁殖学(2)			
	基礎動物看護学	●動物看護学概論(2) ●動物感染症学Ⅱ(2)	●動物感染症学Ⅰ(2) ●動物感染症学Ⅲ(2) ●動物薬理学Ⅰ(2)	●公衆衛生学Ⅰ(2) ●公衆衛生学Ⅱ(2) ●動物薬理学Ⅱ(2)	●動物臨床看護学総論(2)		
	臨床動物看護学	●動物内科看護学Ⅰ(2) ●動物臨床検査学(2)	●動物外科看護学Ⅰ(2) ●動物内科看護学Ⅱ(2)	●動物外科看護学Ⅱ(2) ●動物内科看護学Ⅲ(2)	●動物医療コミュニケーション(2) ●動物臨床看護学各論Ⅰ(2) ●動物臨床看護学各論Ⅱ(2) ●動物臨床看護学各論Ⅲ(2) ●動物臨床看護学各論Ⅳ(2)		
	愛護・適正飼養学	●愛玩動物学Ⅰ(2) ●愛玩動物学Ⅱ(2)	●適正飼養指導論Ⅰ(2) ●適正飼養指導論Ⅱ(2)	●動物生活環境学(2)	●ペット関連産業概論(2)		
	実験・実習	●動物形態機能学・臨床検査学実習Ⅱ(1)	●動物愛護・適正飼養学実習(2)	●臨床看護学実習Ⅰ(1) ●臨床看護学実習Ⅱ(1) ●臨床看護学実習Ⅲ(1)	●動物形態機能学・臨床検査学実習Ⅰ(1) ●臨床看護学実習Ⅳ(1) ●臨床看護学実習Ⅴ(1) ●臨床看護学実習Ⅵ(1)	●動物看護総合実習(4)	
	選択					△疫学概論(2)	△衛生行政学(2)
	探求・研究			●専門ゼミⅠ(2)		△総合動物看護学(4)	
単位数合計		(46)		(41)		(12)	

麻布大学獣医学部獣医保健看護学科における臨床実習施設一覧

実習施設名	所在地（郵便番号・住所）	受入人数 (人)	所要時間
緑の森どうぶつ病院 旭 神病院	078-8373 北海道旭川市旭神 3 条 2-1-8	3	5 時間 13 分
ふれあい動物病院	034-0094 青森県十和田市西二十二番町 5-1	2	5 時間 58 分
あろう動物病院	989-6105 宮城県大崎市古川福沼 3-13-21	1	4 時間 9 分
そらいろ動物病院	975-0018 福島県南相馬市原町区北町 442-1	2	4 時間 56 分
フレンドアニマルメディカ ルセンター	310-0817 茨城県水戸市柳町 2-10-8	2	3 時間 8 分
ひまわり動物病院	319-1106 茨城県那珂郡東海村白方 1749-41	2	3 時間 31 分
カレンアニマルクリニック	311-4153 茨城県水戸市河和田町 3420-3	1	3 時間 24 分
犬猫耳の病院	321-0136 栃木県宇都宮市みどり野町 4-5	2	2 時間 56 分
大久保動物病院	370-0801 群馬県高崎市上並榎町 357-9	2	2 時間 42 分
株式会社桑原動物病院	371-0804 群馬県前橋市六供町 1-8-3	1	2 時間 43 分
たまむら町 中野動物病院	370-1105 群馬県佐波郡玉村町福島 1325-1	2	3 時間 31 分
直井動物病院	330-0052 埼玉県さいたま市浦和区本太 1-8-15	1	1 時間 42 分
高橋動物病院	347-0019 埼玉県加須市鳩山町 6-6	2	1 時間 42 分
アニマルクリニックこばやし	366-0813 埼玉県深谷市境 715-1	2	3 時間 3 分
あさか台どうぶつ医療セ ンター	351-0022 埼玉県朝霞市東弁財 3-16-13	2	1 時間 13 分
アステール動物病院	332-0035 埼玉県川口市西青木 3-10-7 レスポ ワール小陽 1F	1	1 時間 13 分
どうぶつの総合病院 専 門医療&救急センター	333-0823 埼玉県川口市石神 815	1	1 時間 47 分
ペテモ動物病院ララガー デン春日部	344-0064 埼玉県春日部市南 1-1-1 ララガー デン春日部 1 階	1	1 時間 54 分
ライト動物病院	333-0807 埼玉県川口市長蔵 1-16-19 クレア ーレ 1 階	1	1 時間 40 分
ビジョン動物愛護病院	332-0016 埼玉県川口市幸町 3-10-1	2	1 時間 33 分
伊藤動物病院	345-0826 埼玉県南埼玉郡宮代町学園台 2-2-1	2	2 時間 7 分
アポロどうぶつ病院	353-0005 埼玉県志木市幸町 3-4-10JUN 志木 ハイツ 105	2	1 時間 30 分
川口動物医療センター	333-0845 埼玉県川口市上青木西 4-25-18	2	1 時間 53 分
たかくら動物病院	358-0022 埼玉県入間市扇町屋 4-4-4	2	1 時間 51 分
市原山口動物病院	299-0111 千葉県市原市姉崎 2067	2	2 時間 50 分
ハロー動物病院	274-0806 千葉県船橋市二和西 4-23-7	1	2 時間 27 分
東千葉動物医療センター	283-0811 千葉県東金市台方 370	3	2 時間 40 分
いちかわ動物病院	270-0011 千葉県松戸市根木内 168-1	1	2 時間 2 分
習志野動物医療センター /りょう動物病院	275-0011 千葉県習志野市大久保 1-1-40	1	2 時間 9 分

実習施設名	所在地（郵便番号・住所）	受入人数 (人)	所要時間
志津しらい動物病院	285-0843 千葉県佐倉市中志津 2-36-6	2	2 時間 28 分
ミズノ動物クリニック	270-1342 千葉県印西市高花 2-1-10	4	2 時間 43 分
ペテモどうぶつ医療センター幕張新都心	261-0024 千葉県千葉市美浜区豊砂 1-8	1	2 時間 14 分
ぬくもり動物医療センター	289-0313 千葉県香取市小見川 2247-2	2	3 時間 32 分
畑沢動物病院	292-0826 千葉県木更津市畑沢南 3-13-22	3	2 時間 42 分
ALL 動物病院 行徳	272-0141 千葉県市川市香取 1-4-10	1	2 時間 3 分
株式会社荻谷動物病院グループ 市川総合病院	272-0034 千葉県市川市市川 2-6-14	3	1 時間 53 分
赤坂動物病院	107-0052 東京都港区赤坂 4-1-29 赤菱ビル 2F	5	1 時間 17 分
三鷹獣医科グループ	180-0006 東京都武蔵野市中町 2-6-4	2	1 時間 2 分
いぐさ動物病院	167-0021 東京都杉並区井草 1-31-16	2	1 時間 28 分
練馬動物医療センター ホンド動物病院 豊玉病院	176-0013 東京都練馬区豊玉中 2-11-18	3	1 時間 21 分
東京動物医療センター	167-0054 東京都杉並区松庵 2-19-15	1	1 時間 8 分
パティ動物病院	112-0012 東京都文京区大塚 3-19-10 文京 KS ビル 1 階	1	1 時間 25 分
株式会社 昭島動物病院	196-0022 東京都昭島市中神町 1260	2	54 分
阿佐谷ペットクリニック	166-0001 東京都杉並区阿佐谷北 4-1-2	1	1 時間 18 分
久米川みどり動物病院	189-0013 東京都東村山市栄町 1-36-86	1	1 時間 17 分
日本動物医療センター	151-0071 東京都渋谷区本町 6-22-3	2	1 時間 15 分
株式会社荻谷動物病院グループ 江東総合病院	136-0073 東京都江東区北砂 3-12-7	3	1 時間 36 分
ダクダ動物病院 品川 ウェルネスセンター	140-0002 東京都品川区東品川 1-39-21 2F	2	1 時間 28 分
オールハート動物リファ ーラルセンター	195-0071 東京都町田市金井町 2857-6	2	52 分
木村動物病院	162-0045 東京都新宿区馬場下町 50	1	1 時間 14 分
Pet Clinic アニホス	174-0072 東京都板橋区南常盤台 1-14-11	5	1 時間 27 分
みなみ野動物病院	192-0916 東京都八王子市みなみ野 4-33-5	4	31 分
王子ペットクリニック	114-0003 東京都北区豊島 1-22-9	2	1 時間 36 分
本郷獣医科病院	113-0034 東京都文京区湯島 4-1-21	2	1 時間 22 分
京浜どうぶつ医療センター	140-0011 東京都品川区東大井 3-18-13-2F	2	1 時間 18 分
清澄白河アニマルクリニック	135-0021 東京都江東区白河 1-6-15	1	1 時間 32 分
ダクダ動物病院まちだ ドギーリーグ	195-0062 東京都町田市大蔵町 158-4-1F	3	36 分
ハート動物病院	252-0314 神奈川県相模原市南区南台 4-15-2 ハート動物病院ビル	2	36 分
溝呂木動物病院	232-0066 神奈川県横浜市南区六ツ川 2-1-45	1	1 時間 15 分

実習施設名	所在地（郵便番号・住所）	受入人数 (人)	所要時間
マーサ動物病院	236-0051 神奈川県横浜市金沢区富岡東 6-22-28	1	1 時間 18 分
三ツ池動物病院	230-0011 神奈川県横浜市鶴見区上末吉 1-17-9	2	1 時間 14 分
木下動物病院	252-0244 神奈川県相模原市中央区田名 4794-3	2	53 分
たはら動物病院	211-0025 神奈川県川崎市中原区木月 4-4-21 1 階	2	1 時間 6 分
さがみ総合どうぶつ医療 センター	252-0303 神奈川県相模原市南区相模大野 2- 8-1	2	33 分
西湘動物病院	259-0124 神奈川県中郡二宮町山西 646	1	1 時間 36 分
JASMINE どうぶつ総合医 療センター	224-0001 神奈川県横浜市都筑区中川 1-8-37	2	49 分
タやけの丘動物病院	225-0024 神奈川県横浜市青葉区市ケ尾町 517-25	2	48 分
アイビーペットクリニック	242-0007 神奈川県大和市中央林間 4-29-27	2	40 分
ぬのかわ犬猫病院	244-0815 神奈川県横浜市戸塚区下倉田町 273	1	1 時間 14 分
そえだ動物病院	215-0005 神奈川県川崎市麻生区千代ヶ丘 7- 19-6	1	56 分
アニマルライフサポート	245-0022 神奈川県横浜市泉区和泉が丘 1-28-30	1	1 時間 12 分
寒川北インター動物病院	253-0101 神奈川県高座郡寒川町倉見 1184-1	2	1 時間 7 分
こうめ動物病院	240-0114 神奈川県三浦郡葉山町木古庭 1687-5	1	1 時間 47 分
アルフペットクリニック	210-0841 神奈川県川崎市川崎区渡田向町 29-16	2	1 時間 15 分
シートン動物病院 長岡	940-0086 新潟県長岡市西千手 2-6-13	2	3 時間 39 分
小島動物病院アニマルウ ェルネスセンター	956-0832 新潟県新潟市秋葉区秋葉 2-14-68	2	4 時間 49 分
よつや動物病院	933-0949 富山県高岡市四屋 260	4	4 時間 41 分
さくら動物病院	384-0802 長野県小諸市乙 518-22	1	3 時間 14 分
あおぞら動物病院	385-0044 長野県佐久市本新町 216-15	1	3 時間 41 分
たかとみ動物病院	501-2105 岐阜県山口市高富 897-1	2	3 時間 33 分
青山動物病院	438-0071 静岡県磐田市今之浦 2-11-17	2	3 時間 1 分
アサギ動物病院	435-0016 静岡県浜松市東区和田町 451-1	1	2 時間 44 分
片浜どうぶつ病院	410-0874 静岡県沼津市松長 110	2	1 時間 41 分
(有)渡辺動物病院	427-0101 静岡県島田市大柳 825-10	1	3 時間 3 分
りき動物病院	416-0916 静岡県富士市平垣 484-10	2	1 時間 58 分
ナガセ動物病院	470-2316 愛知県知多郡武豊町二ヶ崎 2-32	2	3 時間 25 分
りんごの樹動物病院	446-0053 愛知県安城市高棚町蛭田 52-2	2	3 時間 27 分
ハート動物クリニック	440-0851 愛知県豊橋市前田南町 1-7-13	1	2 時間 4 分
あいち犬猫医療センター 杉浦犬猫病院	446-0071 愛知県安城市今池町 3-5-10	2	2 時間 47 分
まさき動物病院	455-0873 愛知県名古屋市中区春田野 1-2104	2	3 時間 9 分
動物医療センターもりや ま犬と猫の病院	463-0811 愛知県名古屋市中区深沢 2-101	1	3 時間 4 分
ダイゴペットクリニック	471-0865 愛知県豊田市松ヶ枝町 2-33-1	2	3 時間 3 分

実習施設名	所在地（郵便番号・住所）	受入人数 (人)	所要時間
湯木どうぶつ病院	455-0021 愛知県名古屋市中港区木場町 2-99	1	2 時間 42 分
中根犬猫病院	444-0801 愛知県岡崎市美合新町 12-6	2	3 時間 16 分
フクナガ動物病院	523-0041 滋賀県近江八幡市中小森町 308-27	2	3 時間 56 分
とわ動物病院	611-0021 京都府宇治市宇治貳番 4	2	3 時間 29 分
右京動物病院 HEALTH CARE CENTER	616-8181 京都府京都市右京区太秦京ノ道町 12-2	1	3 時間 19 分
南大阪動物医療センター	547-0016 大阪府大阪市平野区長吉長原 3-5-7	2	4 時間 4 分
松原動物病院	580-0044 大阪府松原市田井城 2-1-7	2	4 時間 2 分
アイン動物病院 南千里 病院	565-0851 大阪府吹田市千里山西 6-63-27-101	1	3 時間 39 分
高橋動物病院	557-0044 大阪府大阪市西成区玉出中 2-13-32	2	3 時間 38 分
泉南動物病院	590-0412 大阪府泉南郡熊取町紺屋 2 丁目 1-3	1	4 時間 22 分
ネオベッツ VR センター	537-0025 大阪府大阪市東成区中道 3-8-15	2	3 時間 36 分
福井獣医科病院	577-0809 大阪府東大阪市永和 2-20-25	1	3 時間 39 分
グレイス動物医療センター	546-0013 大阪府大阪市東住吉区湯里 5-19-14	1	4 時間
東田獣医科	569-1128 大阪府高槻市名神町 3-8	1	3 時間 28 分
動物メディカルセンター	562-0032 大阪府箕面市小野原西 4-7-7	2	4 時間 6 分
ごんた動物病院	569-0043 大阪府高槻市竹の内町 71-8	2	3 時間 42 分
ボンド動物病院	572-0019 大阪府寝屋川市三井南町 14-1	2	3 時間 55 分
えびす動物クリニック	591-8004 大阪府堺市北区蔵前町 2-16-35	2	3 時間 53 分
バーニー動物病院	570-0062 大阪府守口市馬場町 1-4-16	2	3 時間 46 分
いぶきの動物病院	594-0041 大阪府和泉市いぶき野 2-9-1	2	4 時間 16 分
ムコ動物病院	660-0076 兵庫県尼崎市大島 3-33-3	1	3 時間 48 分
もみの木動物病院	657-0834 兵庫県神戸市灘区泉通 4-5-13	2	3 時間 42 分
南が丘動物病院	669-1528 兵庫県三田市駅前町 12-9	2	4 時間 5 分
はとの里動物病院	675-0038 兵庫県加古川市加古川町木村 721-5	1	4 時間 24 分
エルザ動物医療センター	670-0063 兵庫県姫路市下手野 1-110-1	3	3 時間 53 分
武庫川動物病院	663-8133 兵庫県西宮市上田東町 4-30	1	3 時間 42 分
こおりやま動物病院	639-1160 奈良県大和郡山市北郡山町 250-15	1	4 時間 1 分
アサヒペットクリニック	630-0131 奈良県生駒市上町 3405-7	2	4 時間 1 分
あや動物病院	631-0044 奈良県奈良市藤ノ木台 4-1-17	2	3 時間 50 分
やさか動物病院	700-0073 岡山県岡山市北区万成西町 15-27	2	4 時間 26 分
おだ動物病院	729-0112 広島県福山市神村町 3131-1	1	4 時間 26 分
いたもと動物病院	732-0029 広島県広島市東区福田 2-2613-2	1	5 時間 8 分
ペットドクター動物病院	739-2125 広島県東広島市高屋町中島 512-1	1	5 時間 20 分
シラナガ動物病院	745-0806 山口県周南市桜木 2-12-18	1	5 時間 33 分
さいき犬猫病院	799-1353 愛媛県西条市三津屋南 14-57	1	5 時間 57 分
なんごくアニマルクリニック	783-0006 高知県南国市篠原 1800-1	2	4 時間 41 分
森どうぶつ病院	807-0874 福岡県北九州市八幡西区大浦 1-13-2	1	4 時間 41 分
ASAP 動物病院	822-0001 福岡県直方市感田 3597-1	2	5 時間 21 分

実習施設名	所在地（郵便番号・住所）	受入人数 (人)	所要時間
オークどうぶつ病院	819-0014 福岡県福岡市西区豊浜 1-1-11	2	5 時間 1 分
竜之介動物病院	860-0811 熊本県熊本市中央区本荘 6 丁目 16-34	2	5 時間 55 分
水前寺公園ペットクリニック	862-0941 熊本県熊本市中央区出水 1-9-20	2	5 時間 25 分
牧港ペットクリニック	901-2131 沖縄県浦添市牧港 2-49-1	1	6 時間 23 分

資料 6 : 学校法人麻布獣医学園麻布大学と公益社団法人日本動物病院協会との連携協力に関する包括協定書

1. 出典

学校法人麻布獣医学園麻布大学と公益社団法人日本動物病院協会との連携協力に関する包括協定書

2. 引用の範囲

「1. 出典」の協定書の写し全文

3. その他の説明

- ・連携に協定締結に係る、目的、協定の範囲、協力事項、秘密保持、知的財産権の取扱い等協定内容を記載したものである。

資料 7：麻布大学の看護臨床教育に係る実施協定書

1. 出典

麻布大学の看護臨床教育に係る実施協定書

2. 引用の範囲

「1. 出典」の実施協定書（見本）全文

3. その他の説明

- ・麻布大学獣医学部獣医保健看護学科の学外における臨床実習を実施するに当たり、実習受入施設との実施協定内容を記載したものである。
- ・実施協定書に記載した事項は、趣旨、委託費、費用負担、実施計画、指揮命令、企業秘密の取扱い、機密情報等の返還義務等である。

資料 8：学生に許容される動物看護業務の範囲

1. 出典

学生に許容される動物看護業務の範囲

2. 引用の範囲

「1. 出典」の全文

3. その他の説明

- ・麻布大学獣医学部獣医保健看護学科の学外における臨床実習を実施するに当たり、実習受入施設でのトラブル回避のため、実習に参加する学生に許容される作業の程度を実習項目ごとに整理した分類表である。
- ・実習時に予測される内容（院内の衛生管理、診察等）に対して、許容事項と禁止事項に区分し、該当する内容を記載したものである。

資料 9：実習生評価表

1. 出典

実習生評価表

2. 引用の範囲

「1. 出典」の全文

3. その他の説明

- ・麻布大学獣医学部獣医保健看護学科の学外における臨床実習を実施した際、実習受入施設における責任者又は実習指導者に記載依頼する評価表である。
- ・評価項目ごとに 5 段階評価するほか、実習学生の教育及び今後のよりよい実習運営のため、総評等を記載する項目を設けている。

誓 約 書

私は、貴院での臨床実習において、下記の事項を遵守することを誓約いたします。

記

1. 貴院の諸規則を遵守し、指導者の指導及び指示に従うとともに、獣医療業務にかかわる者としてのマナー（身だしなみ、言葉づかい、衛生管理等）に十分注意して実習を行います。
2. 飼い主様及び動物と接する場合には、飼い主様及び動物の安全を最優先させ、また不快感を与えないよう細心の注意を払います。
3. 実習中に知り得た患者様、動物及び貴院に係る情報は、実習期間中及び実習終了後においても他に漏らしません。
4. 動画や写真撮影は、実習レポート作成を目的として実習受入施設責任者の承諾を得られた場合のみ行い、SNS（Twitter、Instagram、Facebook、Line 等）、ホームページ、ブログ、動画共有サイトなどに投稿及び掲載は行いません。
5. 実習において貴院の施設、設備、機器、器具等の取扱いには細心の注意を払います。
6. 実習期間中に、院内及び院外において他の方へ感染、傷害等の危害を加えることがないよう万全の注意を払います。
また、私自身の危害防止にも細心の注意を払います。

年 月 日

株式会社〇〇動物医療センター

代表取締役院長 ○ ○ ○ ○ 殿

所 属：麻布大学 獣医学部獣医保健看護学科

本人氏名：（自署） ○ ○ ○ ○ （印）

本人住所：神奈川県相模原市中央区淵野辺 1-17-71

保証人（所属機関等責任者） 川 上 泰 （印）

（所属機関：麻布大学） （身分：学長）

実習室別の主な機器及び器具等の整備計画

使用実習室	機器、備品等	新規整備
6 号館実習室	ヒュームフード	
	ヒートポンプエアコン	
	蒸留水製造装置	
	分包機	○
8 号館実習室	顕微鏡	
	顕微鏡用 3CCD カメラ	
	倒立型顕微鏡	
	培養顕微鏡	
	ディスカッション顕微鏡	
	イヌ C 反応性蛋白濃度測定装置	○
	低温恒温器（冷凍機付きインキュベーター）	○
	オートクレーブ	○
7 号館 1 階実習室	爪切り（ギロチンタイプ）	○
	爪切り（ギロチンタイプ）	○
	爪切り（ネコ用）	○
	ペット用スリッカー	○
	バリカン	○
	ケージ	○
	トイレトレー	○
	ケージ	○
	キャットタワー	○
	爪とぎ器	○
	ネコトイレ	○
	ICU ユニット	○
	診療台	○
	ドッグバス	○
	ペットドライヤー スタンド式	○
	ステンレス作業台	○
	小動物用 X 線復影装置 CXDI セット	○
	防護エプロン サイズ M ピンク	○
	防護エプロン サイズ L ブルー	○
	ネックガード ブルー	○
	ネックガード ピンク	○
	防護手袋 グリーン	○
	防護メガネ(オーバーグラス)	○
	防護メガネ 樹脂フレームブラック	○
	X 線防護衣用ラック 12 着掛	○

使用実習室	機器、備品等	新規整備
7号館1階実習室	ネックガードハンガー 9枚掛	○
	ビデオカメラ	○
	三脚	○
	ユカペット	○
	リラクッション	○
	介護用マット	○
	哺乳瓶	○
	ワンストップ処置車 センターロック方式	○
	器械戸棚 引出し・スライドテーブル付	○
	3人間アームレスチエア	○
	ハイカウンター (幅 80cm)	○
	カウンター用デスク (幅 80cm)	○
獣医学部棟実習室 5	倒立顕微鏡	
	CO2 インキュベーター	
	乾熱滅菌器	
	オートクレーブ	
	超低温フリーザー	
	冷凍フリーザー	
	冷蔵フリーザー	
	マイクロピペット	
獣医学部棟実習室 7	超音波ピペット洗浄器	
	乾燥棚	
	分光光度計	
産業動物臨床センター	牛入れ檻枠組立式	
	手術台 NK-FB センターラム方式	
	子牛オブジェ尻尾ウレタンタイプ	
附属動物病院	ドッグバス	○
	トリミングテーブル (中・小型犬用、折り畳み式)	○
	ワゴン	○
	ペットドライヤー (スタンド式)	○
	パーティション	○
	爪切り (ギロチンタイプ)	○
	爪やすり (電動)	○
	ペット用コーム	○
	ペット用スリッカー	○
	ミニバリカン	○
	バリカン	○
	トリミングシザー	○

使用実習室	機器、備品等	新規整備
附属動物病院	ステンレスカンシ	○
	イヌぬいぐるみ	○
	ネコぬいぐるみ	○
	猫保定袋 中、大	○
	エリザベスカラー	○
	口輪	○
	キャリーケース	○
	動物用体温計サーモフレックス 直腸式	○
	リットマンステスコープマスタークラシックⅡ	○
	診療台	○
	体重計	○
	採血シュミレーター	
	ステンレスカート 2段	○
	動物用心電計	○
	動物用血圧計ペットマップグラフィックⅡ	○
	検眼鏡パンオブティックヘッド	○
	超音波診断装置	○
	超音波検査用マット	
	耳鏡	
	ウッド灯	
	鋭匙	
	輸液ポンプ ハンガー付	○
	シリンジポンプ ハンガー付	○
	シリンジポンプ ポールクランプ, ポールクランプ用ハンガー付	○
	マイクロチップ	○
	マイクロチップリーダー	○
	外科手術剪刀 直型両鈍 14cm	○
	外科手術剪刀 反型両鈍 14cm	○
	メッツエンパウム型車剪刀 反型 14cm	○
	両尖剪刀 直 10.5cm	○
	外科鑷子 無鉤 13cm	○
	外科鑷子 無鉤 15cm	○
	外科鑷子 有鉤 15cm	○
	アドソン型鑷子 無鉤 12cm	○
	アドソン型鑷子 有鉤 12cm	○
	グレフエー型鑷子 12cm	○
	モスキート止血鉗子 直型無鉤 12cm	○

使用実習室	機器、備品等	新規整備
附属動物病院	モスキート止血鉗子 反型無鉤 12cm	○
	コッヘル止血鉗子 直型無鉤	○
	コッヘル止血鉗子 反型無鉤 14.5cm	○
	剥離鉗子 弱電型 19cm	○
	剥離鉗子 アングル型 19cm	○
	アリス有鉤鉗子 15cm	○
	バックハウスタオル鉗子 小 11cm	○
	バックハウスタオル鉗子 大 13cm	○
	メーヨー・ヘガール型持針器超硬チップ付 16cm	○
	ナイフハンド白ル NO.3 適用プレード No. 10, 11, 15(10-15)	○
	小扁平鉤 巾 7mm	○
	双鉤 16cm	○
	卓上型高圧蒸気滅菌器	○
	超音波洗浄器 槽内寸法:506 x 303 x 150mm	○
	ステンレスバット	
	サージカルクリッパー	○
	手術台	○
	作業台	○
	動物用麻酔器 麻酔器, 気化器, 人工呼吸器, エアコンプレッサー	○
	生体計測モニタ リモートコントローラ, 架台等含む	○
	生体モニター (麻酔マルチモニター)	○
	酸素吸入器 3	○
	超音波スケーラー	○
	喉頭鏡プレードマッキントシュ型(#1)	○
	喉頭鏡プレードマッキントシュ型(#2)	○
	喉頭鏡プレードマッキントシュ型(#3)	○
	喉頭鏡プレードマッキントシュ型(#4)	○
	喉頭鏡ハンドル スリム φ18.3x175	○
	イヌの心肺蘇生法練習モデル インジケーター付	○
	“キャスパー”イヌの心肺蘇生トレーニングモデル	○
	除細動器	○
	イヌのバンテージ・トレーニング模型両肢セット	○
	抜糸剪刀 11cm	○
	无影灯 壁面コントロールパネル無し	○
	ワンストップ処置車 センターロック方式	○
	消化器内視鏡セット	○
	全自動血球計数器	○
	生化学分析装置 ドライケムアナライザー	○

【前期】授業時間割表 獣医保健看護学科(愛玩動物看護師養成)

△選択科目 ▲自由科目																		
時間	1 9:00～9:50		2 10:00～10:50		3 11:00～11:50		4 12:00～12:50		5 14:00～14:50		6 15:00～15:50		7 16:00～16:50		8 17:00～17:50		時間	
曜日	科目	教室	科目	教室	科目	教室	科目	教室	科目	教室	科目	教室	科目	教室	科目	教室	科目	
月	1	基礎科学英語 (講義2単位_石井)			8302	地球共生論 (講義2単位_学長他)			9201	キャリアデザイン基礎 (演習1単位_学科教員)			8301					
	2	動物形態機能学・臨床検査学実習Ⅱ (実習1単位_栗林、平、久末、根尾、大仲)					6302 6401				△地球共生系データサイエンス演習Ⅱ (演習1単位_西脇)			9102				
	3	臨床看護学実習Ⅰ～Ⅲ(実習1単位 Ⅰ:久世、小野沢、恩田、風間、野口(倫)、吉岡(耕)、山田、一戸 Ⅱ:小野沢、根尾、久世、一戸、柴田 Ⅲ:山田、茅沼、今井、高橋(広)、鈴木、小野沢、久世、一戸、椿)					※1				△※2 専門ゼミⅠ(演習2単位)(通年)							
	4				△疫学概論 (講義2単位_石原、小手森)			L101	※3 動物看護総合実習 (実習4単位_今井、根尾、山田、小野沢、久世、植竹、栗林、大倉、大仲、島津、一戸、友野)(通年)			※4						
火	1	動物形態機能学Ⅰ(解剖学・組織学Ⅰ) (講義2単位_島津、市原、大石)			8301	生物学 (講義2単位_佐原)			8502	△心理学 (講義2単位_小野)			9201	人と動物の関係学 (講義2単位_菊水、永澤、久世、植竹)			8502	
	2				動物感染症Ⅱ(免疫学、寄生虫学、ウイルス学(総論)) (講義2単位_栗林、平、田原口)			大	動物病理学 (講義2単位_島津)			大						
	3	臨床看護学実習Ⅰ～Ⅲ(実習1単位 Ⅰ:久世、小野沢、恩田、風間、野口(倫)、吉岡(耕)、山田、一戸 Ⅱ:小野沢、根尾、久世、一戸、柴田 Ⅲ:山田、茅沼、今井、高橋(広)、鈴木、小野沢、久世、一戸、椿)					※1				動物内科看護学Ⅲ (講義2単位_今井、齋藤、高橋、恩田、新井、一戸、柴田、外平、椿)			9204	動物外科看護学Ⅱ (講義2単位_今井、藤井、五十嵐、小野沢、一戸)			9204
	4	△※2 卒業論文(演習6単位)(通年)・△※2 専門ゼミⅡ(演習2単位)(前期)								動物看護総合実習(※3) (実習4単位_今井、根尾、山田、小野沢、久世、植竹、栗林、大倉、大仲、島津、一戸、友野)(通年)			※4					
水	1	△生物学実習 (実習1単位_佐原)				実5				△生物学実習 (実習1単位_佐原)				実6				
	△コンピュータ基礎演習 (演習1単位_三澤、酒井、松井)				9101・ 9102				△コンピュータ基礎演習 (演習1単位_三澤、酒井、松井)				9101・ 9102					
	2					9205	動物臨床検査学 (講義2単位_栗林、大仲、平、久末、根尾)			9205	動物内科看護学Ⅰ (講義2単位_久世、小野沢、一戸)			9205				
	3	臨床看護学実習Ⅰ～Ⅲ(実習1単位 Ⅰ:久世、小野沢、恩田、風間、野口(倫)、吉岡(耕)、山田、一戸 Ⅱ:小野沢、根尾、久世、一戸、柴田 Ⅲ:山田、茅沼、今井、高橋(広)、鈴木、小野沢、久世、一戸、椿)					※1				キャリアデザイン応用 (講義2単位_青樹)			8501	動物看護関連法規 (講義1単位_牧野)			8501
4	△※2 卒業論文(演習6単位)(通年)・△※2 専門ゼミⅡ(演習2単位)(前期)																	
木	1	化学 (講義2単位_中野)			8401	△基礎体育 (演習2単位_野口(泰)、廣川、山本、千葉、竹内、壹岐)(通年)			動物看護学概論 (講義2単位_学科教員)			8401	△ライフサイエンスの数学 (講義2単位_廣田)			8401		
	2				動物形態機能学Ⅳ(生理学Ⅱ) (講義2単位_島津、松井(久))			8501	△社会学 (講義2単位_大倉)			8502						
	3	動物生活環境学 (講義2単位_植竹)			8302	公衆衛生学Ⅰ(総論・環境衛生) (講義2単位_平、吉岡(亘)、杉田)			8302	公衆衛生学Ⅱ(食品衛生) (講義2単位_大仲、平、岡谷)			8402	△地球共生系サイエンスワーク(講義2単位_菊水)(通年)			8402	
	4	△※2卒業論文(演習6単位)(通年) △※2専門ゼミⅡ(演習2単位)(通年)				△総合動物看護学 (講義4単位_学科教員)(通年)			9201	△※2 卒業論文(演習6単位)(通年) ・△※2 専門ゼミⅡ(演習2単位)(通年)								
金	1	愛玩動物学Ⅰ (講義2単位_茂木、水越、高柳)			大	愛玩動物学Ⅱ (講義2単位_茂木、久世、戸張、松井(久))			8302	生命倫理・動物福祉 (講義2単位_植竹)			8301					
	2				動物栄養学Ⅰ (講義2単位_鈴木)			9205	比較動物学Ⅱ (講義2単位_田中、塚田、加瀬)			9205	動物愛護・適正飼養 関連法規(講義1単位_牧野)			9205		
	3	動物薬理学Ⅱ (講義2単位_栗林)			9201	動物繁殖学 (講義2単位_野口(倫)、吉岡(耕)、伊藤(潤)、金井、戸張、五十嵐、寺川、)			9204	△地球共生系データサイエンス演習Ⅲ (演習1単位_西脇)			9102	△※2専門ゼミⅠ(演習2単位)(通年)				
	4	△※2 卒業論文(演習6単位)(通年)・△※2 専門ゼミⅡ(演習2単位)(前期)																

▲キャリアデザインフィールドスタディ(演習1単位_大倉)(通年)

※1 臨床センター実習室1,2,3,4 7号1階 コンパニオン・ドッグ・ラボラトリ LAVEC 6号館4階6401

※2 「△卒業論文・△専門ゼミⅠ・Ⅱ」は、各研究室3～4年次で可能な時間に単位相当分以上を科目担当教員の指示により実施する。

※3 動物看護総合実習 は、学内及び学外で実習を行う。(夏期集中を含める。)

【後期】授業時間割表 獣医保健看護学科(動物看護師養成)

△選択科目 ▲自由科目													時 間		教室
科目	1 9:00～9:50	2 10:00～10:50	3 11:00～11:50	4 12:00～12:50	5 14:00～14:50	6 15:00～15:50	7 16:00～16:50	8 17:00～17:50	科 目		教室				
月	1	比較動物学Ⅰ (講義2単位_田中、風間、中村、塚本)			9205	有機化学 (講義2単位_良永)		9205							
	2	△社会統計学 (講義2単位_大倉)		9204	動物栄養学Ⅱ (講義2単位_鈴木、小野沢)		9204								
	3	臨床看護学実習Ⅳ～Ⅵ(実習1単位) Ⅳ:今井、青木、金井、恩田、風間、一戸 Ⅴ:今井、伊藤哲、藤井、藤田、一戸 Ⅵ:小野沢、久世、今井、久末、一戸		※1		動物医療コミュニケーション (講義2単位_久末、友野、井上(舞))		8301							
	4			△衛生行政学 (講義2単位_野田)		8501	△総合動物看護学 (講義4単位)(通年)(学科教員)			9201					
火	1			地球共生系データベースサイエンス演習Ⅰ(演習1単位_西脇)	9101・9102	獣医看護実践英語 (講義2単位_石井)		8401	動物形態機能学Ⅱ (解剖学・組織学Ⅱ) (講義2単位_島津、市原、大石)		8402				
	2	動物感染症学Ⅲ(ウイルス学(各論)、感染症学) (講義2単位_田原口、長井、村上裕)		9201			9201	動物臨床看護学総論 (講義2単位_小野沢、弓削田)		9204					
	3	臨床看護学実習Ⅳ～Ⅵ(実習1単位) Ⅳ:今井、青木、金井、恩田、風間、一戸 Ⅴ:今井、伊藤哲、藤井、藤田、一戸 Ⅵ:小野沢、久世、今井、久末、一戸		※1		△地球共生系サイエンスワーク (講義2単位)(通年_菊水)		9205							
	4	△※2 卒業論文(演習6単位)(通年)				△総合動物看護学(講義4単位)(通年)(学科教員)				9201					
水	1	△化学実験 (実習1単位_紙透、加古川)			実7	動物形態機能学・臨床検査学実習Ⅰ (実習1単位_島津、市原、大石、大仲)			8202 8401 8402						
	2			適正飼養指導論Ⅰ (講義2単位_植竹)		9205	動物愛護・適正飼養学実習① (実習2単位_植竹)			臨床実習準備3					
	3	臨床看護学実習Ⅳ～Ⅵ(実習1単位) Ⅳ:今井、青木、金井、恩田、風間、一戸 Ⅴ:今井、伊藤哲、藤井、藤田、一戸 Ⅵ:小野沢、久世、今井、久末、一戸		※1		△※2 専門ゼミⅠ(演習2単位)(通年)									
	4	△※2 卒業論文(演習6単位)(通年)					△総合動物看護学 (講義4単位)(通年)(学科教員)				9201				
木	1			△基礎体育 (演習2単位_野口(泰)、廣川、山本、千葉、竹内、壹岐)(通年)			動物形態機能学Ⅲ(生理学Ⅰ) (講義2単位_島津、松井)	8501							
	2	動物薬理学Ⅰ (講義2単位_栗林)		8402	適正飼養指導論Ⅱ (講義2単位_植竹)		8502	動物愛護・適正飼養学実習② (実習2単位_植竹)			臨床実習準備3				
	3	動物臨床看護学各論Ⅰ～Ⅳ (講義2単位) ※科目担当者は欄外		9205	動物臨床看護学各論Ⅰ～Ⅳ (講義2単位) ※科目担当者は欄外		9205								
	4	△※2 卒業論文(演習6単位)(通年)					△総合動物看護学(講義4単位)(通年)(学科教員)				9201				
金	1			動物行動学 (講義2単位_久世)		8301	動物感染症学Ⅰ(細菌・真菌) (講義2単位_大仲)		8601						
	2	動物外科看護学Ⅰ (講義2単位_今井、茅沼、高木、金井、伊藤哲、高橋広、青木、一戸)		8502	動物内科看護学Ⅱ (講義2単位_小野沢、久末、山田、茅沼、五十嵐、一戸)		8502								
	3	△※2 専門ゼミⅠ(演習2単位)(通年)			ペット関連産業概論 (講義2単位_大倉)		9205	動物臨床看護学各論Ⅰ～Ⅳ (講義2単位) ※科目担当者は欄外		9205	動物臨床看護学各論Ⅰ～Ⅳ (講義2単位) ※科目担当者は欄外		9205		
	4	△※2 卒業論文(演習6単位)(通年)					△総合動物看護学 (講義4単位)(通年)(学科教員)				9201				

▲キャリアデザインフィールドスタディ(演習1単位_通年_大倉)

※1 臨床センター実習室1,2,3,4 7号1階 コンパニオン・ドッグ・ラボラトリ LAVEC 6号館4階6401

※2「△卒業論文・△専門ゼミⅠ・Ⅱ」は、各研究室3～4年次で可能な時間に単位相当分以上を科目担当教員の指示により実施する。

※動物看護総合実習(実習4単位)(通年_今井、根尾、山田、小野沢、久世、植竹、栗林、大倉、大仲、島津、一戸、友野)は、学内及び学外で実習を行う。(夏期集中を含める。)

動物看護総合実習(実習4単位)の学内での実習は次の教室で行う。ただし、日時により異なる。(臨床センター実習室1,2,3,4 7号館1階 6号館4階6401 9号館2階9201 附属動物病院)

※動物臨床看護学各論Ⅰ(講義2単位_久末、平、青木、金井、高橋香、今井、椿)

※動物臨床看護学各論Ⅱ(講義2単位_五十嵐、高木、久末、金井、伊藤哲、高橋広)

※動物臨床看護学各論Ⅲ(講義2単位_齋藤、金井、小野沢、園尾、今井、久世、柴田、一戸)

※動物臨床看護学各論Ⅳ(講義2単位_久世、山田、塚田、村田、服部、三輪、外平、大塚、椿)

麻布大学獣医保健看護学科図書・雑誌一覧

No.	タイトル等	出版社、発行元等
1	愛玩動物看護師の教科書 第1巻	緑書房編集部
2	愛玩動物看護師の教科書 第2巻	緑書房編集部
3	愛玩動物看護師の教科書 第3巻	緑書房編集部
4	愛玩動物看護師の教科書 第4巻	緑書房編集部
5	愛玩動物看護師の教科書 第5巻	緑書房編集部
6	愛玩動物看護師の教科書 第6巻	緑書房編集部
7	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 6巻 動物行動学/愛玩動物学/比較動物学	エデュワードプレ ス
8	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 3巻 動物感染症学	エデュワードプレ ス
9	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 9巻 動物臨床看護学総論/動物臨床看護学各論	エデュワードプレ ス
10	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 5巻 公衆衛生学/動物看護関連法規/動物愛護・適正飼養関連法規	エデュワードプレ ス
11	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 8巻 動物栄養学/動物外科看護学/ 動物医療コミュニケーション	エデュワードプレ ス
12	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 4巻 動物看護学概論/人と動物の関係学/生命倫理・動物福祉	エデュワードプレ ス
13	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 1巻 動物形態機能学/動物繁殖学	エデュワードプレ ス
14	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 7巻 動物内科看護学/動物臨床検査学	エデュワードプレ ス
15	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 2巻 動物病理学/動物薬理学	エデュワードプレ ス
16	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 10巻 適正飼養指導論/動物生活環境学/ペット関連産業概論	エデュワードプレ ス
17	“現場で使って覚える” 動物看護師のバイブル 「as」	エデュワードプレ ス
18	カラーアトラスエキゾチックアニマル 哺乳類編 第3版	緑書房
19	知りたい! 考えてみたい! どうぶつとの暮らし	駿河台出版社
20	小型犬から大型犬まで、現役獣医師が犬種別の悩みも解説! いぬ大全 304	KADOKAWA
21	現役獣医師が猫のホンネから不調の原因までを解説! 家ねこ大全 285	KADOKAWA
22	動物看護師統一認定試験過去問題一問一答	ファームプレス
23	犬と猫のフィジカルアセスメント:視診・触診・聴診のきほん	緑書房
24	伴侶動物のがん緩和・支持療法とがん看護: 動物と家族の QOL を支えるチーム獣医療のために	緑書房
25	写真と動画で学ぶ小動物の外科テクニック 52	エデュワードプレ ス
26	1年目に身に付ける社会人マナー&接客スキル 50 (新人動物看護	エデュワードプレ

No.	タイトル等	出版社、発行元等
	師トレーニングガイドシリーズ)	ス
27	1年目を生き抜く動物病院サバイバルノートおかわり	学窓社
28	動物の看護師さん:動物・飼い主・獣医師をつなぐ6つの物語	大月書店
29	書き込んで理解する動物の寄生虫病学実習ノート	文永堂出版
30	犬と猫のこれだけ心電図	緑書房
31	小動物腫瘍科専門誌 「VETERINARY ONCOLOGY」	エデュワードプレス
32	動物病院スタッフのための犬と猫の感染症ガイド 適切でわかりやすいインフォームのために	緑書房
33	カラーアトラスエキゾチックアニマル 哺乳類編 増補改訂版 ー種類・生態・飼育・疾病ー	緑書房
34	動物病院スタッフのための手術器具ガイド	緑書房
35	ビジュアルで学ぶ動物看護学 第2版 ー臨床につなげる基礎知識	CAP 編集部
36	アニマルセラピー動物介在看護の現状と展望	本の泉社
37	そうだったのか!絶対読める心電図一目でみてわかる緊急度と判読のポイント	羊土社
38	ペットビジネスマーケティング総覧	矢野経済研究所
39	獣医皮膚科専門医が教える 犬のスキンケア パーフェクトガイド	エデュワードプレス
40	めざせ早期発見! わかる犬の病気	エデュワードプレス
41	asBOOKS 小動物の実践保定法《応用編》 (as books)	エデュワードプレス
42	正常画像と比べてわかる犬猫画像診断: 診療現場ですぐに使える	誠文堂新光社
43	動物と人の心に寄り添う 動物医療グリーフケア (as BOOKS)	エデュワードプレス
44	Exploring the Gray Zone: Case Discussions of Ethical Dilemmas for the Veterinary Technician (New Directions in the Human-Animal Bond) (English Edition)	PURDUE UNIVERSITY PRESS
45	こころのワクチン	Parade books
46	犬と猫の問題行動の予防と対応 動物病院ができる上手な飼い主指導	緑書房
47	Low Stress Handling Restraint and Behavior Modification of Dogs & Cats: Techniques for Developing Patients Who Love Their Visits	CattleDog Publishing

麻布大学獣医保健看護学科視聴覚教材一覧

No.	タイトル等	出版社、発行元等
1	動物看護師のための獣医病理学の基礎知識	日本動物病院協会 (JAHA)
2	動物の皮膚と スキンケアを学ぼう！	日本動物病院協会 (JAHA)
3	麻酔中の基本的なモニタリング	日本動物病院協会 (JAHA)
4	眼科診療補助に必要な基礎知識	日本動物病院協会 (JAHA)
5	知っておくべき跛行診断	日本動物病院協会 (JAHA)
6	整形外科手術の基礎	日本動物病院協会 (JAHA)
7	骨折治療の基礎	日本動物病院協会 (JAHA)
8	主な関節疾患の診断と治療	日本動物病院協会 (JAHA)
9	主な神経外科疾患の診断と治療	日本動物病院協会 (JAHA)
10	先輩・後輩互いに伸びるジョブトレーニング講座 Vol.1 応対会話と受付の指導	エデュワードプレス
11	先輩・後輩互いに伸びるジョブトレーニング講座 Vol.2 電話応対と基本動作の指導	エデュワードプレス
12	DVD as セミナー2015	エデュワードプレス
13	診察室で獣医師から動物看護師へ伝える繁殖学	(株)医療情報研究所
14	VT が押さえておくべき血液検査・画像検査のポイント	(株)医療情報研究所
15	忙しい院長のための遠藤式・実践型 AHT 短期育成プログラム	(株)医療情報研究所
16	一次診療で使える外科テクニク～わたしの手術法～ 4 巻～8 巻	エデュワードプレス
17	神経疾患の系統的診断アプローチと治療の実際	エデュワードプレス
18	DVD 専門医が提案する猫にやさしい診療とは	エデュワードプレス
19	獣医画像診断テクニク DVD シリーズ Vol.2 心エコー One Step Beyond	エデュワードプレス
20	【DVD 版】犬と猫の超音波診断の実際 Vol.2 心臓疾患編	エデュワードプレス
21	【DVD 版】犬と猫の超音波診断の実際 Vol.3 腹部疾患編	エデュワードプレス
22	【DVD 版】続・犬と猫の超音波診断の実際 Vol.3 前立腺・子宮・卵巣	エデュワードプレス
23	論理的な診断手順 (伴侶動物の臨床病理学 DVD 第 1 巻)	緑書房
24	スクリーニング検査 (伴侶動物の臨床病理学 DVD 第 2 巻)	緑書房
25	新しい世界標準の CBC 検査 (伴侶動物の臨床病理学 DVD 第 3 巻)	緑書房
26	白血球系の評価 (伴侶動物の臨床病理学 DVD 第 4 巻)	緑書房

麻布大学獣医保健看護学科における電子ジャーナル一覧

(※大学が所有する電子ジャーナルのうち、獣医保健看護学科に関連する分野を示す)

No.	タイトル	出版社	分野	関連性 ◎：強く関連 ○：関連
1	Animal Cognition	Springer	動物学通論	○
2	Applied Animal Behaviour Science	Elsevier	動物学通論	◎
3	Animal Behaviour	Elsevier	動物学通論	◎
4	Journal of Animal Science	Oxford Academic	畜産業	○
5	Animal Science Journal	Wiley	畜産業	○
6	Theriogenology	Elsevier	家畜の繁殖	○
7	Equine Veterinary Journal	Wiley	家畜飼養（愛玩動物）	○
8	Journal of Veterinary Emergency and Critical Care	Wiley	家畜飼養（愛玩動物）	◎
9	Avian Pathology	Taylor&Francis	家禽の飼育	
10	Meat Science	Elsevier	畜産製造・畜産物	
11	Journal of Small Animal Practice	Wiley	獣医学	◎
12	Veterinary and Comparative Oncology	Wiley	獣医学	○
13	Vet Record (In Practice 含む)	Wiley	獣医学	◎
14	Australian Veterinary Journal	Wiley	獣医学	○
15	Journal of the American Animal Hospital Association	American animal Hospital Association	獣医学	◎
16	The Veterinary Journal	Elsevier	獣医学	○
17	Research in Veterinary Science	Elsevier	獣医学	○
18	Journal of Veterinary Behavior	Elsevier	獣医学	◎
19	Veterinary Clinics of North America: Small Animal Practice	Elsevier	獣医学	◎
20	Veterinary Clinics of North America: Equine Practice	Elsevier	獣医学	○
21	Veterinary Clinics of North America: Food Animal Practice	Elsevier	獣医学	
22	Veterinary Clinics of North America: Exotic Animal Practice	Elsevier	獣医学	◎
23	Anatomia Histologia Embryologia	Wiley	獣医学	
24	Domestic Animal Endocrinology	Elsevier	獣医学	○
25	Veterinary pathology	Sage	獣医学	○
26	Journal of Comparative Pathology	Elsevier	獣医学	○

No.	タイトル	出版社	分野	関連性 ◎：強く関連 ○：関連
27	Veterinary Microbiology	Elsevier	獣医学	○
28	Veterinary Immunology and Immunopathology	Elsevier	獣医学	○
29	Veterinary Parasitology	Elsevier	獣医学	○
30	Journal of Veterinary Cardiology	Elsevier	獣医学	○
31	Veterinary Clinical Pathology	Wiley	獣医学	○
32	Journal of Veterinary Diagnostic Investigation	Sage	獣医学	○
33	Veterinary Dermatology	Wiley	獣医学	◎
34	Veterinary Surgery	Wiley	獣医学	○
35	Veterinary Radiology & Ultrasound	Wiley	獣医学	○
36	Veterinary and Comparative Orthopaedics and Traumatology	Thieme Connect	獣医学	○
37	Veterinary Anaesthesia and Analgesia	Elsevier	獣医学	◎
38	Veterinary Ophthalmology	Wiley	獣医学	○
39	Journal of the American Veterinary Medical Association	AVMA	獣医学	◎
40	Journal of Veterinary Medical Science	日本獣医学会	獣医学	○
41	Onderstepoort Journal of Veterinary Research	Onderstepoort Veterinary Institute	獣医学	○
42	American Journal of Veterinary Research	AVMA	獣医学	○
43	Acta Veterinaria Scandinavica	Springer Nature	獣医学	○
44	Animal Welfare	The International Animal Welfare Science Society	動物愛護	○
45	Animals	MDPI	動物学	○
46	BMC Veterinary Research	Springer Nature	獣医学	○
47	European Journal of Companion Animal Practice	Federation of European Companion Animal Veterinary Associations	獣医学	○
48	Frontiers in Veterinary Science	Frontiers Media	獣医学	◎
49	Today's Veterinary Nurse	North American Veterinary Community	獣医学	◎
50	Anthrozoös	Taylor&Francis	動物学	◎

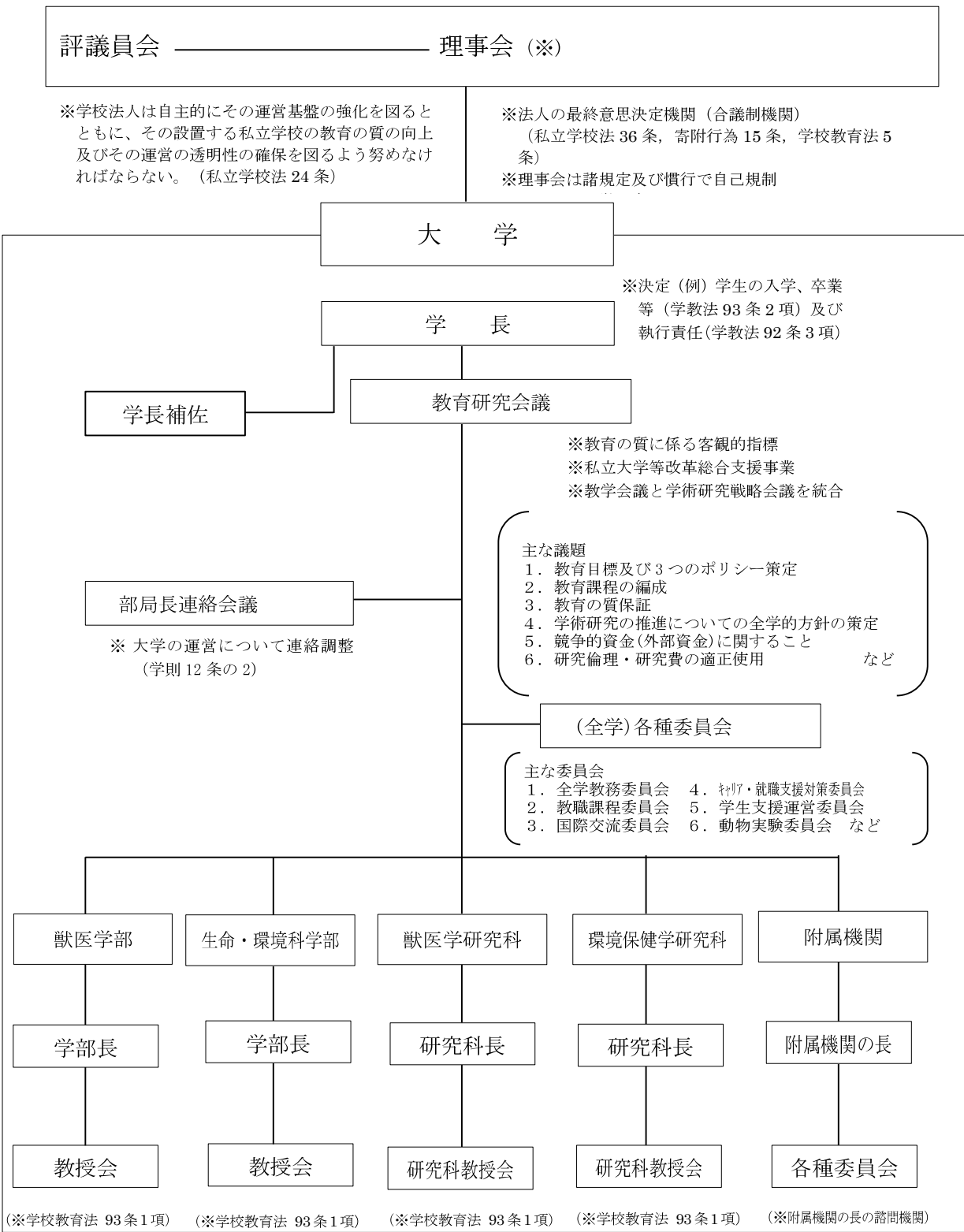
No.	タイトル	出版社	分野	関連性 ◎：強く関連 ○：関連
51	Journal of Animal Physiology and Animal Nutrition	Wiley	獣医生理学	◎
52	The Veterinary Nurse	MAG Online Library	獣医学	◎
53	Veterinary Research Communications	Springer	獣医学	◎

資料 13-3

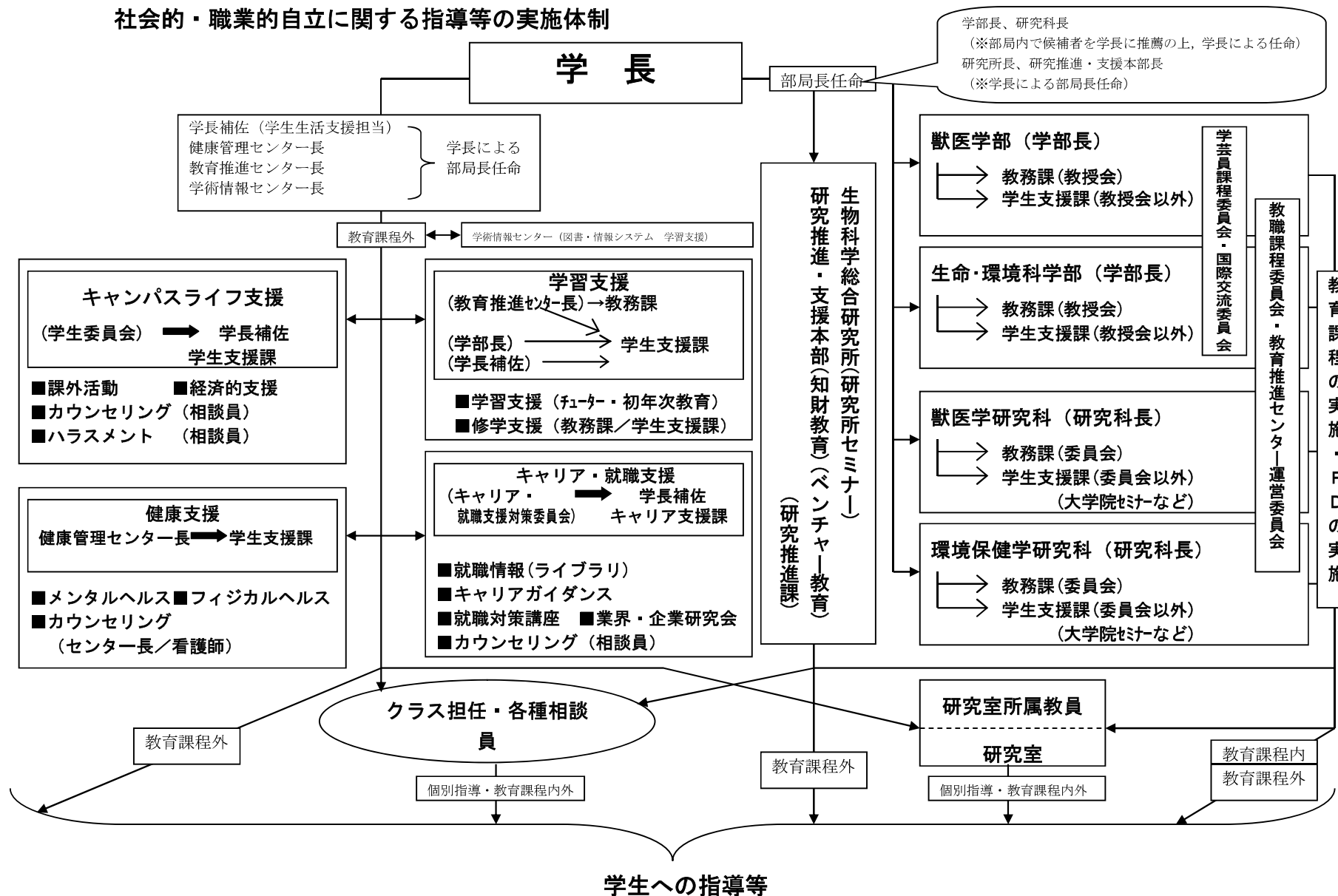
麻布大学におけるデータベース一覧（大学全体共用）

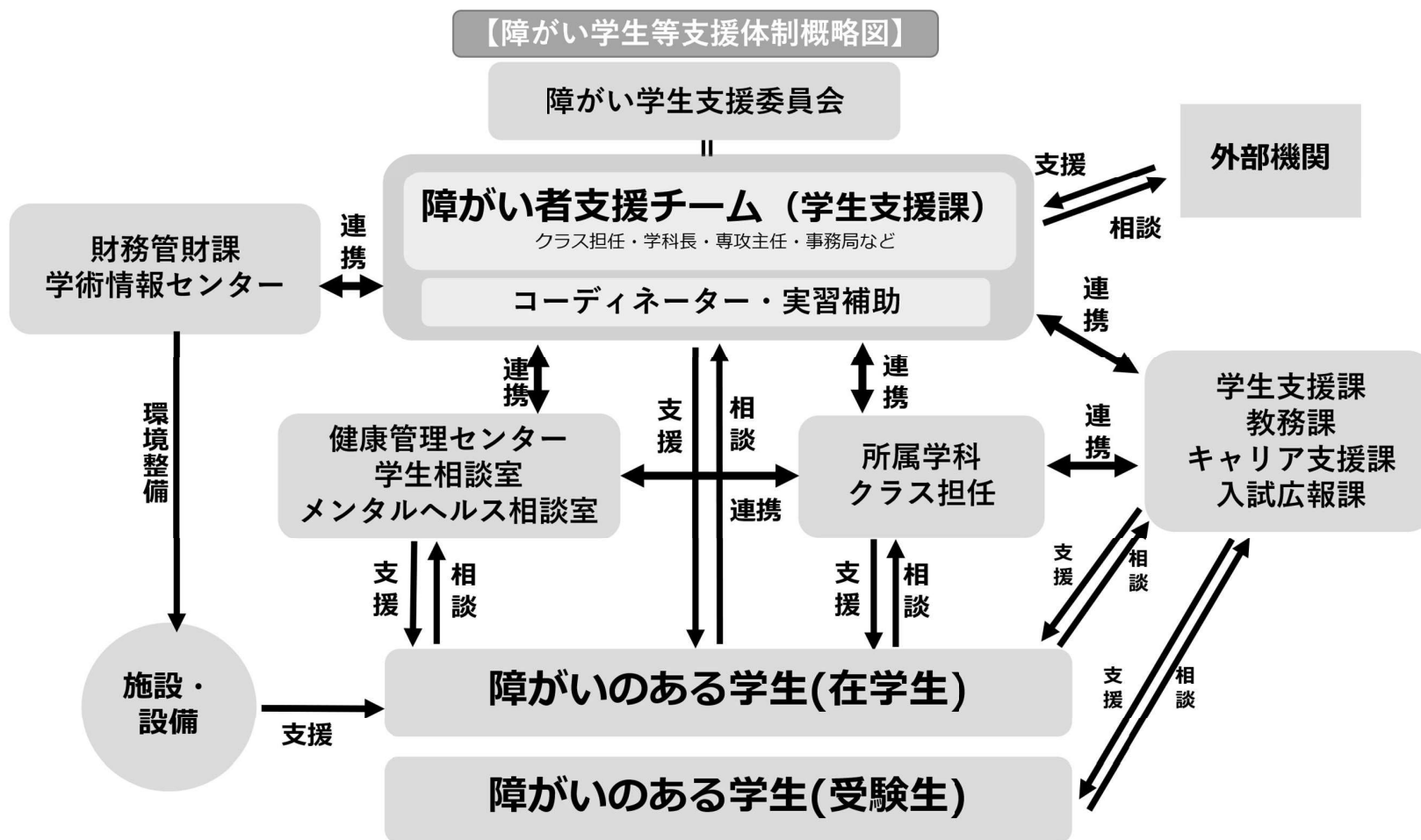
No.	データベース名称	概要	コンソーシアム
1	医中誌 Web	国内の医学、薬学、獣医学等の文献情報	
2	Scopus	エルゼビア社提供の全分野文献情報	JUSTICE

麻布大学の管理運営体制



社会的・職業的自立に関する指導等の実施体制





麻布大学 内部質保証体制図

資料 17

